

# 平成29年度における業務の実績に関する報告書

平成30年 6月

地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館

**法人の概要** (平成29年度)

1 基本的情報		
法人名	地方独立行政法人佐賀県医療センター好生館	
所在地	佐賀市嘉瀬町大字中原400番地	
資本金の状況	2,316,978,749円	
設置する病院	名称	佐賀県医療センター好生館
	主な役割及び機能	○地域医療支援病院    ○救命救急センター    ○がん診療連携拠点病院    ○基幹災害拠点病院    ○エイズ拠点病院 ○開放型病院    ○臓器提供施設    ○臨床研修指定病院    ○関連教育病院    ○原子力災害拠点病院 ○感染症指定医療機関    ○日本医療機能評価機構認定病院    ○DPC対象病院(Ⅱ群) ○地域周産期母子医療センター    ○がんゲノム連携病院
	所在地	佐賀市嘉瀬町大字中原400番地
	開設年月	平成22年4月1日
	病床数	450床(一般:442床, 感染症:8床)
	診療科目	内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、血液内科、腫瘍内科、糖尿病代謝内科、腎臓内科、肝臓・胆のう・膵臓内科、脳神経内科、脳血管内科、緩和ケア内科、外科、呼吸器外科、心臓血管外科、消化器外科、肝臓・胆のう・膵臓外科、小児外科、整形外科、脳神経外科、精神科、小児科、形成外科、リハビリテーション科、乳腺外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、放射線科、救急科、麻酔科、歯科口腔外科、病理診断科
	敷地面積	54,802㎡
	建物規模	延面積 41,681㎡

2 組織・人員情報			
役員状況			
役職名	氏名	任期	経歴等
理事長	中川原 章	平成26年4月1日 ~ 平成30年3月31日	
副理事長	兒玉 謙次	平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日	佐賀県医療センター好生館 館長
理事	前 隆男	平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日	佐賀県医療センター好生館 副館長
理事	松田 篤郎	平成29年4月1日 ~ 平成30年3月31日	佐賀県医療センター好生館 事務部長
理事	吉原 久美子	平成28年4月1日 ~ 平成30年3月31日	佐賀県医療センター好生館 看護部長
理事(非常勤)	松永 啓介	平成28年4月1日 ~ 平成30年3月31日	佐賀県医師会 副会長
理事(非常勤)	中尾 清一郎	平成28年4月1日 ~ 平成30年3月31日	株式会社佐賀新聞 代表取締役社長
理事(非常勤)	原 英夫	平成28年4月1日 ~ 平成30年3月31日	国立大学法人佐賀大学 医学部長
監事(非常勤)	福田 恵巳	平成28年4月1日 ~ 平成30年3月31日	弁護士
監事(非常勤)	峰 悦男	平成28年4月1日 ~ 平成30年3月31日	公認会計士
職員数	886人(正職員)、217人(臨時職員) [平成30年3月31日現在]		

中期目標		第2 県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項		ウェイト	計画の進捗状況	法人の自己評価																																								
1 好生館が担うべき医療の提供及び医療水準の向上		2 9年度計画				評価	理由																																							
2 期中期計画																																														
(1) 好生館が担うべき医療の提供	① 充実した救急医療の提供	1	① 充実した救急医療の提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 24時間365日、救急車を受け入れる。</li> <li>・ ドクターカーを有効に運用する。</li> <li>・ ドクターヘリについては、基地病院(佐賀大学病院)と連携し、有効に運用する。</li> <li>・ 交通事故や自然災害などによる外傷患者に対する治療に取り組む外傷センターを有効に運用する。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入救急車台数</td> <td>2,955台</td> <td>2,900台</td> </tr> <tr> <td>救急患者数</td> <td>18,064人</td> <td>18,000人</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	28年度実績	29年度目標	受入救急車台数	2,955台	2,900台	救急患者数	18,064人	18,000人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 24時間365日体制の救急医療を継続実施した。</li> <li>・ 来院救急患者に適切に対応した。</li> <li>・ 救命率向上の強化を図るため、平成23年12月から運用を開始したドクターカーは、382回出動した。</li> <li>・ また、平成25年7月から運用を開始したドクターヘリは、基地病院(佐賀大学病院)と連携を密にし、161回出動した。</li> <li>・ 受入救急車台数と救急患者数は右表のとおりであった。</li> <li>・ 精神科リエゾンチームの設置により、救急患者の精神神経領域をより手厚くケアできるようになった。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ドクターカーとドクターヘリの運用回数は下表のとおりであった。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドクターカー運用回数</td> <td>398回</td> <td>382回</td> </tr> <tr> <td>ドクターヘリ運用回数</td> <td>144回</td> <td>161回</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受入救急車台数と救急患者数は下表のとおりであった。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> <th>29年度実績</th> <th>目標達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>受入救急車台数</td> <td>2,955台</td> <td>2,900台</td> <td>3,107台</td> <td>107.1%</td> </tr> <tr> <td>救急患者数</td> <td>18,064人</td> <td>18,000人</td> <td>17,854人</td> <td>99.2%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○ドクターカー及びドクターヘリを効率的に運用し、積極的な患者受入を行った。救急車台数は目標値を上回ったが、救急患者数は目標値を下回ったのでB評価とした。</li> <li>(参考) 救急医療情報システム[99さがネット]: 医療機関別搬送実績 好生館3,112件(前年度比195件増) 佐賀大学2,480件(前年度比73件減) NH0佐賀1,596件(前年度比488件増) 中部病院573件(前年度比56件減)</li> </ul>	区 分	28年度実績	29年度実績	ドクターカー運用回数	398回	382回	ドクターヘリ運用回数	144回	161回	区 分	28年度実績	29年度目標	29年度実績	目標達成率	受入救急車台数	2,955台	2,900台	3,107台	107.1%	救急患者数	18,064人	18,000人	17,854人	99.2%							
	区 分	28年度実績	29年度目標																																											
受入救急車台数	2,955台	2,900台																																												
救急患者数	18,064人	18,000人																																												
区 分	28年度実績	29年度実績																																												
ドクターカー運用回数	398回	382回																																												
ドクターヘリ運用回数	144回	161回																																												
区 分	28年度実績	29年度目標	29年度実績	目標達成率																																										
受入救急車台数	2,955台	2,900台	3,107台	107.1%																																										
救急患者数	18,064人	18,000人	17,854人	99.2%																																										
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 佐賀大学医学部附属病院と相互に機能を補完、協力し合いながら3次救急患者の受入を行うとともに、佐賀県ドクターヘリ事業については、基地病院である佐賀大学医学部附属病院と協体制を構築し、連携病院として、その機能を発揮していく。</li> </ul>	2	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 脳卒中センターの機能を有効に運用し、また脳卒中ケアユニット(SCU)の設置を検討する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 脳神経外科、脳神経内科、脳血管内科が連携のもと、24時間体制で脳卒中センターを運用した。</li> <li>・ 新たに見学した九州医療センターを参考に、脳卒中ケアユニットの設置場所を選定した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 脳神経外科、脳神経内科、脳血管内科が連携のもと、24時間体制で脳卒中センター(脳卒中治療患者数増など)を運用した。</li> <li>・ 脳卒中ケアユニット(SCU)の設置場所等を選定した。</li> <li>○脳卒中センターを24時間体制で運用したのでA評価とした。</li> </ul>																																									
	3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 血管造影室、ハイブリッド手術室をより有効に活用する。</li> <li>・ ハートセンターを有効に運用する。</li> <li>・ 手術用ロボットの運用を継続する</li> <li>・ ICU2の機能を維持する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハイブリッド手術室使用症例数は、111症例(前年度比13症例減)であった。</li> <li>・ ICU2の機能を維持した。</li> <li>・ 低侵襲手術支援ロボット(ダヴィンチ)の運用を継続した。</li> </ul>		A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ハイブリッド手術室使用症例数は、111症例(前年度比13症例減)であった。</li> <li>・ 特定集中治療室(ICU2)を有効に活用した。</li> <li>[参考]ICU入室患者数:648人(ICU2算定率:56.5%)</li> <li>・ 手術用ロボットの運用を継続し、昨年度より手術件数が増加した。</li> <li>ダヴィンチによる前立腺がん手術数:30件(対前年比6件増)</li> <li>○ハイブリッド手術室及びICUの有効活用、低侵襲手術支援ロボット(ダヴィンチ)での手術の増加等によりA評価とした。</li> </ul>																																								
	4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 救命救急センターの受入体制を維持する。</li> <li>・ (救急、外傷、脳卒中、循環器)ホットラインの周知を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 脳卒中ホットラインを開設し佐賀中部広域連合消防局へ通知した。(4月17日)</li> <li>・ 9月22日の地域医療連携懇談会にて各センター長より参加施設の医師にホットライン(救急、外傷、脳卒中、循環器)の説明を行った。</li> <li>・ ホットラインを明記した各センターのリーフレットを作成し配布した。</li> </ul>	A		<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 脳卒中ホットラインを開設し佐賀中部広域連合消防局へ通知した。(4月17日)</li> <li>・ 9月22日の地域医療連携懇談会にて各センター長より参加施設の医師にホットライン(救急、外傷、脳卒中、循環器)の説明を行った。</li> <li>・ ホットラインを明記した各センターのリーフレットを作成し配布した。</li> <li>○新たに脳卒中ホットラインを開設したのでA評価とした。</li> </ul>																																								
	② 高度・専門医療の提供	5	② 高度・専門医療の提供 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 本県における中核的医療機関として、循環器系疾患に対する医療、がんに対する医療、小児・周産期医療、感染症医療など佐賀県医療センター好生館に求められる高度・専門医療を提供する。</li> <li>i 循環器系疾患に対する医療                             <ul style="list-style-type: none"> <li>* ハートセンター、脳卒中センターでのチーム医療を推進する。</li> <li>* 心臓カテーテル治療件数を維持する。</li> <li>* 大血管ステント治療を継続する。</li> <li>* リハビリテーション専門医の指導のもと、早期急性期リハビリテーションを充実する。</li> <li>* 脳血管内治療医によるインターベンションを推進する。</li> <li>* 脳卒中連携パスについては、ピカピカリンクを利用しての電子パスの運用数を増やすとともに他の計画管理病院への展開を進める。</li> <li>* 脳梗塞患者を引き続き積極的に受け入れる。</li> </ul> </li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心臓カテーテル治療数</td> <td>328件</td> <td>330件</td> </tr> <tr> <td>アブレーション件数</td> <td>367件</td> <td>200件</td> </tr> <tr> <td>大血管ステント治療数</td> <td>23件</td> <td>20件</td> </tr> <tr> <td>脳卒中治療患者数</td> <td>364人</td> <td>350人</td> </tr> </tbody> </table>		区 分	28年度実績	29年度目標	心臓カテーテル治療数	328件	330件	アブレーション件数	367件	200件	大血管ステント治療数	23件	20件	脳卒中治療患者数	364人	350人	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ アブレーション件数と脳卒中治療患者数は、目標値を上回ったが、心臓カテーテル治療数と大血管ステント治療数は、目標値を下回った。</li> <li>・ 心臓血管外科と循環器内科が連携のもと、24時間体制でハートセンターを運用した。</li> <li>・ リハビリテーション専門医指導のもと、早期リハビリテーションに注力した。 H29年度:60,193単位(前年度比887単位増)</li> <li>・ 超急性期脳梗塞に対するtPA治療を積極的に行った。</li> <li>・ ピカピカリンクでの脳卒中連携パスを運用するための環境を他の計画管理病院(佐賀大学、嬉野医療センター、唐津日赤)に構築した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 循環器系疾患に対する診療実績は下表のとおりであった。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> <th>29年度実績</th> <th>目標達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>心臓カテーテル治療数</td> <td>328件</td> <td>330件</td> <td>319件</td> <td>96.7%</td> </tr> <tr> <td>アブレーション件数</td> <td>367件</td> <td>200件</td> <td>332件</td> <td>166.0%</td> </tr> <tr> <td>大血管ステント治療数</td> <td>23件</td> <td>20件</td> <td>19件</td> <td>95.0%</td> </tr> <tr> <td>脳卒中治療患者数</td> <td>364人</td> <td>350人</td> <td>384人</td> <td>109.7%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ アブレーション件数と脳卒中治療患者数は、目標値を上回ったが、心臓カテーテル治療数と大血管ステント治療数は、目標値を下回った。</li> <li>・ 心臓血管外科と循環器内科が連携のもと、24時間体制でハートセンターを運用した。</li> <li>・ リハビリテーション専門医指導のもと、早期リハビリテーションに注力した。 H29年度:60,193単位(前年度比887単位増)</li> <li>・ 脳血管内治療数が増加した。 H29年度:68症例(前年度比16件増) [経皮的頸動脈ステント留置術6症例、経皮的脳血栓回収術62症例]</li> <li>・ 超急性期脳梗塞に対するtPA治療を積極的に行った。 [tPA治療 H29年度:64症例(前年度比16症例増)]</li> <li>・ 脳卒中連携機関数:35施設 患者数:506名(前年度比81名増)(その内電子パス登録:215名)</li> <li>・ ピカピカリンクでの脳卒中連携パスを運用するための環境を他の計画管理病院(佐賀大学、嬉野医療センター、唐津日赤)に構築した。</li> <li>○心臓カテーテル治療数および大血管ステント治療数が目標値を下回ったのでB評価とした。</li> </ul>	区 分	28年度実績	29年度目標	29年度実績	目標達成率	心臓カテーテル治療数	328件	330件	319件	96.7%	アブレーション件数	367件	200件	332件	166.0%	大血管ステント治療数	23件	20件	19件	95.0%	脳卒中治療患者数	364人	350人	384人
区 分	28年度実績	29年度目標																																												
心臓カテーテル治療数	328件	330件																																												
アブレーション件数	367件	200件																																												
大血管ステント治療数	23件	20件																																												
脳卒中治療患者数	364人	350人																																												
区 分	28年度実績	29年度目標	29年度実績	目標達成率																																										
心臓カテーテル治療数	328件	330件	319件	96.7%																																										
アブレーション件数	367件	200件	332件	166.0%																																										
大血管ステント治療数	23件	20件	19件	95.0%																																										
脳卒中治療患者数	364人	350人	384人	109.7%																																										

項目別の状況

中期目標		第2 県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項		ウェイト	計画の進捗状況	法人の自己評価																																																		
1 好生館が医療の提供及び医療水準の向上		2 9年度計画				評価	理由																																																	
2 期中期計画		2 9年度計画																																																						
(1) 好生館が担うべき医療の提供	ii がんに対する医療	6	ii がんに対する医療 * 外来化学療法室の運用を充実させる。 * がん地域連携バスを運用する。 (肺、肝臓、胃、大腸、食道、乳腺、前立腺) * がん治療において九州国際重粒子線がん治療センター(サガハイマツ)との連携を継続する。 * 日本小児血液・がん専門医研修施設の機能を維持する。 * がんリハビリテーションを継続して実施する。	・造血幹細胞移植は6件であった。症例数の内訳は次のとおりであった。 (末梢血幹細胞移植(自家移植)(K9222 <sup>a</sup> )4件、末梢血幹細胞移植(臍帯血移植)(K9223)2件) ・がん地域連携バスの部位別内訳は、右表のとおりであった。 ・九州国際重粒子線がん治療センターへの紹介患者数は68人であった。 紹介診療科の内訳 泌尿器科 26 肝胆膵内科 20 肝胆膵外科 7 消化器外科 5 腫瘍内科 4 呼吸器内科 3 呼吸器外科 1 緩和ケア 1 総合内科 1 ・小中学生のシンポジストと教師、がん教育に関わるNPO法人等を迎え小児がんの支援についての研修会を実施した。 「こどものがん治療を支援する研修会」(8月) ・がんリハビリテーションを延べ3,049人に施行した。(前年度比 865人増) ・低侵襲手術支援ロボット(ダヴィンチ)の運用を継続した。(再掲)	<b>A+</b> ・外来化学療法室を拡張し処置ベッドを増設した(18床⇒25床)。 ・造血幹細胞移植件数及び外来化学療法件数は目標を上回った。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> <th>29年度実績</th> <th>目標達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>造血幹細胞移植数</td> <td>6件</td> <td>2件</td> <td>6件</td> <td>300.0%</td> </tr> <tr> <td>外来化学療法患者数</td> <td>3,959人</td> <td>3,800人</td> <td>5,316人</td> <td>139.9%</td> </tr> </tbody> </table> ・がん地域連携バスの運用実績は下表のとおりであった。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> <th>対前年度比</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>胃がん</td> <td>28件</td> <td>28件</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>大腸がん</td> <td>26件</td> <td>30件</td> <td>4件増</td> </tr> <tr> <td>食道がん</td> <td>1件</td> <td>4件</td> <td>3件増</td> </tr> <tr> <td>肝臓がん</td> <td>4件</td> <td>2件</td> <td>2件減</td> </tr> <tr> <td>膵がん</td> <td>11件</td> <td>12件</td> <td>1件増</td> </tr> <tr> <td>乳がん</td> <td>4件</td> <td>2件</td> <td>2件減</td> </tr> <tr> <td>前立腺がん</td> <td>15件</td> <td>19件</td> <td>4件増</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>89件</td> <td>97件</td> <td>8件増</td> </tr> </tbody> </table> ・九州国際重粒子線がん治療センターへの紹介患者数: 68人(前年度比 14人増) ・研修会開催: 「こどものがん治療を支援する研修会」(8月23日 参加者49名) 「春休み がん予防ウォッチ」(3月29日 参加者35名) ・がんリハビリテーションを延べ3,049人に施行した。(前年度比 865人増) ・がん患者及びその家族の支援等を目的としたリフォーライジングジャパン2017佐賀に、当館の職員43名が参加した(9月23日、24日)。 ・手術用ロボットの運用を継続し、昨年度より手術件数が増加した。(再掲)ダヴィンチによる前立腺がん手術数: 30件(対前年比 6件増) ○造血幹細胞移植数、外来化学療法件数ともに目標値を大幅に上回ったのでA+評価とした。	区分	28年度実績	29年度目標	29年度実績	目標達成率	造血幹細胞移植数	6件	2件	6件	300.0%	外来化学療法患者数	3,959人	3,800人	5,316人	139.9%	区分	28年度実績	29年度実績	対前年度比	胃がん	28件	28件	0	大腸がん	26件	30件	4件増	食道がん	1件	4件	3件増	肝臓がん	4件	2件	2件減	膵がん	11件	12件	1件増	乳がん	4件	2件	2件減	前立腺がん	15件	19件	4件増	合計	89件	97件	8件増
	区分	28年度実績	29年度目標			29年度実績	目標達成率																																																	
	造血幹細胞移植数	6件	2件			6件	300.0%																																																	
	外来化学療法患者数	3,959人	3,800人			5,316人	139.9%																																																	
区分	28年度実績	29年度実績	対前年度比																																																					
胃がん	28件	28件	0																																																					
大腸がん	26件	30件	4件増																																																					
食道がん	1件	4件	3件増																																																					
肝臓がん	4件	2件	2件減																																																					
膵がん	11件	12件	1件増																																																					
乳がん	4件	2件	2件減																																																					
前立腺がん	15件	19件	4件増																																																					
合計	89件	97件	8件増																																																					
iii 小児・周産期医療	7	iii 小児・周産期医療 * 地域における小児医療の拠点として、小児がんなどに対する高度・専門医療に取り組むとともに小児救急医療を提供する。 * 周産期医療連携医療機関としての機能の充実を図るとともに、周産期医療におけるNHO佐賀病院、佐賀大学医学部附属病院との役割分担、機能補完体制のもと、県内唯一の小児外科医療の拠点病院として、専門医による小児外科医療を提供する。 * 周産期医療提供体制の一層の充実のため、産科医、小児科医の増員を図る。 <b>【目標】</b> 産科医、小児科医の増 平成29年度 20名	・小児科医師が3交替体制で小児・周産期医療を24時間提供した。 ・県内唯一の小児外科診療の拠点病院として、専門医による小児外科治療を継続実施した。 ・昨年度に引き続き小児外科医を周辺医療機関へ派遣した。 ・11月より新生児特定集中治療室管理料2の算定を開始した。 ・分娩数(242件)は目標を上回ったが、小児外科手術(275件)は目標を25件下回った。	<b>B</b> ・小児科医師が3交替体制で小児・周産期医療を24時間提供した。 ・小児外科医を手術支援のため周辺医療機関へ26回派遣した。 ・11月より新生児特定集中治療室管理料2の算定を開始した。 ・小児外科手術件数、分娩数については下表のとおりであった。 <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> <th>29年度実績</th> <th>目標達成率</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児外科手術数</td> <td>303件</td> <td>300件</td> <td>275件</td> <td>91.7%</td> </tr> <tr> <td>分娩数</td> <td>218件</td> <td>210件</td> <td>242件</td> <td>115.2%</td> </tr> </tbody> </table> ・分娩数(242件)は目標を上回ったが、小児外科手術(275件)は目標を25件下回った。 ○小児外科手術数が目標値を下回ったためB評価とした。	区分	28年度実績	29年度目標	29年度実績	目標達成率	小児外科手術数	303件	300件	275件	91.7%	分娩数	218件	210件	242件	115.2%																																					
区分	28年度実績	29年度目標			29年度実績	目標達成率																																																		
小児外科手術数	303件	300件			275件	91.7%																																																		
分娩数	218件	210件			242件	115.2%																																																		
iv 感染症医療	8	iv 感染症医療 * 第一種及び第二種感染症指定医療機関として、平常時から医療体制を整備し、新型インフルエンザなど感染症発生時には迅速かつ確実に対応する。	・感染症専門医による感染症専門外来(予約・紹介)を継続実施している。 ・「一類感染症受入体制整備研修会」(国立国際医療研究センター)に感染症専門医師1名、感染症認定看護師1名が参加した。(12月21日) ・N95マスクの確実な密着性を確認するため、定量フィットテスターを用いて、感染医療従事者による定量的フィットテストを実施した。 [実施回数: 11回 参加者: 56名] ・感染医療従事者を対象に、個人防護具脱着訓練を実施した。 [実施日: 5月16日、6月22日、3月9日 参加者: 14名] ・佐賀中部地区新型インフルエンザ等対応訓練に参加した。(3月15日)(参加者14名 : 医師1名、看護師4名、検査技師3名、事務6名)	<b>A</b> ・感染症専門医による感染症専門外来(予約・紹介)を継続実施している。 ・「一類感染症受入体制整備研修会(国立国際医療研究センター)」に感染症専門医師1名、感染症認定看護師1名が参加した。(12月21日) ・N95マスクの確実な密着性を確認するため、定量フィットテスターを用いて、感染医療従事者による定量的フィットテストを実施した。 [実施回数: 11回 参加者: 56名] ・感染医療従事者を対象に、個人防護具脱着訓練を実施した。 [実施日: 5月16日、6月22日、3月9日 参加者: 14名] ・佐賀中部地区新型インフルエンザ等対応訓練に参加した。(3月15日)(参加者14名 : 医師1名、看護師4名、検査技師3名、事務6名) ○新型インフルエンザ等に対して関係機関との合同訓練及び防護服脱着訓練など感染症に対する準備を着実に進めたのでA評価とした。																																																				
	9	v 外傷や災害時の医療 * 外傷センターを有効に運用する。(再掲)			・24時間体制で外傷センターを運用した。 ・H29年度の外傷センター患者数は201名であった。	<b>A</b> ・救命救急センター、各外科系診療科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション部門が協力して24時間体制で外傷センターを運用した。 ○24時間体制で外傷センターを運用できたのでA評価とした。																																																		
③ 高度医療機器の計画的な更新・整備	10	③ 高度医療機器の計画的な整備・更新 ・高度医療機器の更新・整備を計画的に行うとともに、適正な運用を継続し、さらなる高度・専門医療を提供する。 ・医療機器購入にあたっては、ベンチマーク等を活用し、経費削減に努める。					・耐用年数を超過した医療機器の更新を中心に機器を整備した。 [CT(バージョンアップ)、内視鏡情報管理システム、手術用顕微鏡等] ・医療機器購入にあたっては、ベンチマーク等を活用し、適正価格での購入を図り、費用削減に努めた。	<b>A</b> ・耐用年数を超過した医療機器の更新を中心に全68機種の機器を整備した。 [CT(バージョンアップ)、内視鏡情報管理システム、手術用顕微鏡等] ①入札額: 562,213,639円 ②契約額: 547,253,154円 ③削減額[①-②]: 14,960,485円 ○約1,496万円の費用削減ができたのでA評価とした。																																																

項目別の状況

中期目標		第2 県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項		コメント	計画の進捗状況	法人の自己評価																																																					
1 好生館が担うべき医療の提供及び医療水準の向上		2 9年度計画	2 9年度計画			評価	理由																																																				
(2) 医療スタッフの確保・育成	<p>① 優秀なスタッフの確保・専門性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>診療能力の向上及び診療技術の習得に関する指導体制の充実や、大学等関係機関との連携により、優秀な医師の確保を図る。</li> <li>優秀な看護師を確保するために、看護学生への奨学金制度の設立を目指す。</li> <li>専門資格取得のための研修制度や助成制度等により、専門医、専門看護師、認定看護師及び領域別専門資格の取得を推進する。</li> <li>専門知識・技術向上のため、メディカルスタッフに対する研修等を充実させ、専門・認定薬剤師、専門放射線技師、認定検査技師、専門療法士、管理栄養士関連資格および認定臨床工学技士資格の取得を推進する。</li> </ul> <p>【目標】 各種専門・認定資格者の増（延人数）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>平成24年度</th> <th>平成29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>*認定看護師</td> <td>13名</td> <td>17名</td> </tr> <tr> <td>*専門及び認定薬剤師</td> <td>4名</td> <td>6名</td> </tr> <tr> <td>*専門放射線技師</td> <td>6名</td> <td>10名</td> </tr> <tr> <td>*認定検査技師</td> <td>20名</td> <td>23名</td> </tr> <tr> <td>*専門療法士</td> <td>6名</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>*管理栄養士</td> <td>8名</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>*認定臨床工学技士</td> <td>3名</td> <td>6名</td> </tr> </tbody> </table>		平成24年度	平成29年度	*認定看護師	13名	17名	*専門及び認定薬剤師	4名	6名	*専門放射線技師	6名	10名	*認定検査技師	20名	23名	*専門療法士	6名	9名	*管理栄養士	8名	14名	*認定臨床工学技士	3名	6名	<p>11</p> <p>①優秀なスタッフの確保・専門性の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>診療能力の向上及び診療技術の習得に関する指導体制の整備や、大学等関係機関との連携により、優秀な医師の確保を図る。</li> <li>新専門医制度への移行に備えて、適切に指導医を確保する。</li> <li>優秀な看護師を確保するために、看護学生への奨学金制度を継続する。</li> <li>専門資格取得のための研修制度や助成制度等により、専門医、専門看護師、認定看護師及び領域別専門資格の取得を推進する。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> <th>増加数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師数</td> <td>17名</td> <td>17名</td> <td>0名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	28年度実績	29年度目標	増加数	認定看護師数	17名	17名	0名		<p>計画の進捗状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新専門医制度の専攻医研修プログラムを申請し登録された。〈専攻医研修プログラム（基幹型7診療科）〉 ：内科、外科、救急科、麻酔科、産婦人科、小児科、整形外科</li> <li>前年度に引き続き、総合看護学院学生を対象とした奨学金制度を運用した。</li> <li>有資格者2名の退職、及び新規取得者1名、有資格者採用1名により認定看護師は合計17名になった。</li> <li>助産師1名が佐賀県初の「母性看護専門看護師」（全国計70名）の資格を取得した。</li> <li>リンクナースコースとして、「感染」、「褥瘡」、「がん看護」を設け、知識・技術の習得、各部署での実践を目的に認定看護師、医師等が講師となり研修を行っている。</li> </ul>	<p><b>A</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新専門医制度の専攻医研修プログラム（基幹型7診療科）を申請し登録された。〈専攻医研修プログラム（基幹型7診療科）〉 ：内科、外科、救急科、麻酔科、産婦人科、小児科、整形外科</li> <li>平成29年度の新規奨学金貸与者数は13名で総貸与者数は25名であった。</li> <li>認定看護師の資格取得状況については下表のとおりであった。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> <th>29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>認定看護師数</td> <td>17名</td> <td>17名</td> <td>17名</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>有資格者2名の退職、及び新規取得者1名、有資格者採用1名により認定看護師は合計17名になった。 [集中ケア1名、精神科看護1名 計2名の増]</li> <li>助産師1名が佐賀県初の「母性看護専門看護師」（全国計70名）の資格を取得した。</li> <li>リンクナースコースとして、「感染」（毎月10日：参加18名）、「褥瘡」（毎月10日：参加18名）、「がん看護」（毎月6日：参加18名）を設け、知識・技術の習得、各部署での実践を目的に認定看護師、医師等が講師となり研修を行っている。</li> <li>○新専門医制度の専攻医研修プログラムを申請できたこと、認定看護師の育成、看護師教育を継続していることなどからA評価とした。</li> </ul>	区分	28年度実績	29年度目標	29年度実績	認定看護師数	17名	17名	17名														
		平成24年度	平成29年度																																																								
	*認定看護師	13名	17名																																																								
*専門及び認定薬剤師	4名	6名																																																									
*専門放射線技師	6名	10名																																																									
*認定検査技師	20名	23名																																																									
*専門療法士	6名	9名																																																									
*管理栄養士	8名	14名																																																									
*認定臨床工学技士	3名	6名																																																									
区分	28年度実績	29年度目標	増加数																																																								
認定看護師数	17名	17名	0名																																																								
区分	28年度実績	29年度目標	29年度実績																																																								
認定看護師数	17名	17名	17名																																																								
	<p>12</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>専門知識・技能向上のため、薬剤師、診療放射線技師、臨床検査技師等の研修等を充実させ、資格の取得を推進する。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> <th>増加数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門/認定薬剤師数</td> <td>13名</td> <td>13名</td> <td>0名</td> </tr> <tr> <td>専門放射線技師資格</td> <td>16名</td> <td>18名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>認定検査技師</td> <td>36名</td> <td>44名</td> <td>8名</td> </tr> <tr> <td>専門認定療法士資格</td> <td>15名</td> <td>17名</td> <td>2名</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士関連資格</td> <td>8名</td> <td>9名</td> <td>1名</td> </tr> <tr> <td>認定ME資格</td> <td>7名</td> <td>9名</td> <td>2名</td> </tr> </tbody> </table>	区分	28年度実績	29年度目標	増加数	専門/認定薬剤師数	13名	13名	0名	専門放射線技師資格	16名	18名	2名	認定検査技師	36名	44名	8名	専門認定療法士資格	15名	17名	2名	管理栄養士関連資格	8名	9名	1名	認定ME資格	7名	9名	2名	<ul style="list-style-type: none"> <li>メディカルスタッフの資格取得希望者に対し、関連講習会、セミナー等に出席できるよう支援を継続した。</li> <li>医療支援部門の新人教育を目的にメディカルスタッフによる症例検討会を実施している。</li> </ul>	<p><b>B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主な資格取得分野は、次のとおりであった。 薬剤師：救急認定薬剤師他 放射線技師：AI認定放射線技師他 検査技師：緊急臨床検査師他 管理栄養士：病態栄養認定管理栄養士他 臨床工学技士：体外循環技術認定士他</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> <th>29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門/認定薬剤師数</td> <td>13名</td> <td>13名</td> <td>14名</td> </tr> <tr> <td>専門放射線技師資格</td> <td>16名</td> <td>18名</td> <td>19名</td> </tr> <tr> <td>認定検査技師数</td> <td>36名</td> <td>44名</td> <td>64名</td> </tr> <tr> <td>専門認定療法士資格</td> <td>15名</td> <td>17名</td> <td>15名</td> </tr> <tr> <td>管理栄養士関連資格</td> <td>8名</td> <td>9名</td> <td>9名</td> </tr> <tr> <td>認定ME資格</td> <td>7名</td> <td>9名</td> <td>12名</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>○資格取得総数は目標値を23件上回ったが、専門療法士資格が目標値を下回ったのでB評価とした。</li> </ul>	区分	28年度実績	29年度目標	29年度実績	専門/認定薬剤師数	13名	13名	14名	専門放射線技師資格	16名	18名	19名	認定検査技師数	36名	44名	64名	専門認定療法士資格	15名	17名	15名	管理栄養士関連資格	8名	9名	9名	認定ME資格	7名	9名	12名
区分	28年度実績	29年度目標	増加数																																																								
専門/認定薬剤師数	13名	13名	0名																																																								
専門放射線技師資格	16名	18名	2名																																																								
認定検査技師	36名	44名	8名																																																								
専門認定療法士資格	15名	17名	2名																																																								
管理栄養士関連資格	8名	9名	1名																																																								
認定ME資格	7名	9名	2名																																																								
区分	28年度実績	29年度目標	29年度実績																																																								
専門/認定薬剤師数	13名	13名	14名																																																								
専門放射線技師資格	16名	18名	19名																																																								
認定検査技師数	36名	44名	64名																																																								
専門認定療法士資格	15名	17名	15名																																																								
管理栄養士関連資格	8名	9名	9名																																																								
認定ME資格	7名	9名	12名																																																								
<p>② 医療スタッフの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>救急スタッフの育成を図るため、医師、臨床研修医、医学生、看護師、看護学生、救急救命士等に対する救急医療の教育に取り組む。</li> </ul>	<p>13</p> <p>②医療スタッフの育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>教育センターの活用による人材育成をさらに充実させる。</li> <li>救急スタッフの育成を図るため、医師、臨床研修医、医学生、看護師、看護学生、救急救命士等に対する救急医療の教育に取り組む。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BLS</td> <td>49回</td> <td>49回</td> </tr> <tr> <td>ACLS</td> <td>13回</td> <td>13回</td> </tr> </tbody> </table>	区分	28年度実績	29年度目標	BLS	49回	49回	ACLS	13回	13回	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育センタースタッフを中心に院外医療従事者、学生を対象に定期的に講習会等を開催した。</li> </ul>	<p><b>B</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>研修医勉強会（24回開催）、病院マネジメント推進会（11回）等の講習会・勉強会・研修会（54コース）を開催した。</li> <li>BLS、ACLSの実績については下表のとおりであった。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> <th>29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>BLS</td> <td>49回</td> <td>49回</td> <td>64回</td> </tr> <tr> <td>ACLS</td> <td>13回</td> <td>13回</td> <td>11回</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>BLSは目標値を上回ったが、ACLSはスケジュールの関係で目標を2回下回った。</li> <li>○年間を通して精力的に勉強会・研修会等（54コース）を開催したが、ACLSが目標値を下回ったのでB評価とした。</li> </ul>	区分	28年度実績	29年度目標	29年度実績	BLS	49回	49回	64回	ACLS	13回	13回	11回																																			
区分	28年度実績	29年度目標																																																									
BLS	49回	49回																																																									
ACLS	13回	13回																																																									
区分	28年度実績	29年度目標	29年度実績																																																								
BLS	49回	49回	64回																																																								
ACLS	13回	13回	11回																																																								

項目別の状況

中期目標		第2 県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項		ウェイト	計画の進捗状況	法人の自己評価																					
1 好生館が担うべき医療の提供及び医療水準の向上		2 9年度計画				評価	理由																				
2 期中期計画		2 9年度計画																									
(2) 医療スタッフの確保・育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育研修プログラムの充実により教育研修体制を強化するとともに、臨床研修医等を受入れる。</li> <li>佐賀県立総合看護学院の行う看護師教育、実習に対する協力をを行う。</li> <li>医療従事者養成機関から医師、薬剤師、看護師などを目指す実習生を受け入れる。</li> </ul> <p>【目標】</p> <p>臨床研修医受入数の維持 平成29年度 27名（平成24年度 27名）</p> <p>薬剤師を目指す実習生受入数の増 平成29年度 20名（平成24年度 1名）</p> <p>看護師を目指す実習生受入数の増 平成29年度 280名（平成24年度 261名）</p>	14	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育研修プログラムの充実により教育研修体制を強化するとともに、臨床研修医等を受入れる。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>臨床研修医数</td> <td>29人</td> <td>30人</td> </tr> <tr> <td>薬剤師実習生</td> <td>8人</td> <td>8人</td> </tr> <tr> <td>看護師実習生</td> <td>276人</td> <td>280人</td> </tr> </tbody> </table>	区分	28年度実績	29年度目標	臨床研修医数	29人	30人	薬剤師実習生	8人	8人	看護師実習生	276人	280人	<ul style="list-style-type: none"> <li>新臨床研修医30人を受入れた。</li> <li>前年度に引き続き、教育センターを中心に、初期臨床研修医向けの研修プログラム説明会への参加、病院見学対応を行った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>新臨床研修医数30人を受入れた。</li> <li>新臨床研修医の受入実績については下表のとおりであった。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> <th>29年度累計実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>新臨床研修医数</td> <td>29人</td> <td>30人</td> <td>30人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○新臨床研修医数(30人)が目標値に達したのでA評価とした。</p>	区分	28年度実績	29年度目標	29年度累計実績	新臨床研修医数	29人	30人	30人	
		区分	28年度実績	29年度目標																							
臨床研修医数	29人	30人																									
薬剤師実習生	8人	8人																									
看護師実習生	276人	280人																									
区分	28年度実績	29年度目標	29年度累計実績																								
新臨床研修医数	29人	30人	30人																								
15	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐賀大学等・他の医療機関との連携を一層強化し、病院の活性化及び病院職員、医療従事者としての専門性を高めるために人事交流を実施する。</li> <li>医療スタッフ（メディカルスタッフ）の育成を強化する。</li> <li>海外提携病院との交流を強化・推進する。</li> <li>佐賀県立総合看護学院等の行う看護師教育、実習に対する協力をを行う。また、実習指導者の育成を強化する。</li> <li>医療従事者養成機関から医師、薬剤師、看護師などを目指す実習生を受け入れる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>好生館事務職員1名と佐賀大学職員1名を相互に派遣した。</li> <li>佐賀大学病院の看護師3名を受入れた。 [4月～3月：ICU1名、緩和1名、小児1名]</li> <li>研究・研修支援事業とし、海外研修コース（医師2名）、海外学会発表（放射線技師1名）を支援した。</li> <li>佐賀県立総合看護学院での講義、実習等の講師として、医師38名、看護師18名、臨床検査技師6名、薬剤師1名、理学療法士1名、管理栄養士1名を派遣した。</li> <li>医療従事者養成機関から通年にわたり実習生の受入れを継続実施している。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>人事交流として好生館事務職員1名と佐賀大学職員1名を相互に派遣した。</li> <li>佐賀大学病院の看護師3名を受入れた。（4月～ICU1名、緩和1名、小児1名）</li> <li>研究・研修支援事業とし、海外研修コース（医師2名）、海外学会発表（放射線技師1名）を支援した。</li> <li>ドイツチュービンゲン労災外傷病院フェロシップ研修（整形外科医師1名）</li> <li>Medtronic Cadaver Course研修（整形外科医師1名）</li> <li>欧州放射線医学会議示説発表（放射線技師1名）</li> <li>佐賀県立総合看護学院での講義、実習等の講師として、医師38名、看護師18名、臨床検査技師6名、薬剤師1名、理学療法士1名、管理栄養士1名を派遣した。</li> <li>薬学生、看護学生の実習受入状況は下表のとおりであった。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> <th>29年度累計実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>薬剤師実習生</td> <td>8人</td> <td>8人</td> <td>7人</td> </tr> <tr> <td>看護師実習生</td> <td>276人</td> <td>280人</td> <td>282人</td> </tr> </tbody> </table> <p>○人事交流の継続、研究・研修の支援実施、佐賀県立総合看護学院に対する研修等を計画通りに実施したことなどによりA評価とした。</p>	区分	28年度実績	29年度目標	29年度累計実績	薬剤師実習生	8人	8人	7人	看護師実習生	276人	280人	282人											
区分	28年度実績	29年度目標			29年度累計実績																						
薬剤師実習生	8人	8人	7人																								
看護師実習生	276人	280人	282人																								
(3) 信頼される医療の提供	<p>① 科学的根拠に基づく医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者や家族からの信頼を得て適切な医療を提供するため、EBM（科学的根拠に基づく医療）を推進する。</li> </ul>	16	<p>①科学的根拠に基づく医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>患者や家族からの信頼を得て適切な医療を提供するため、EBM（科学的根拠に基づく医療）及びVBM（価値に基づく医療）を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者や家族からの信頼を得て適切な医療を提供するため、厚生労働省ガイドラインや各学会ガイドラインに沿った治療を行った。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者や家族からの信頼を得て適切な医療を提供するため、厚生労働省ガイドラインや各学会ガイドラインに沿った治療を行った。</li> <li>エビデンスに基づいた標準医療が実践されているかを検証するため、QI（Quality Indicator）を活用して、トレース及び検証を継続した。 [参加QI団体：日本病院会、全国自治体病院協議会、全がん協など]</li> <li>○QIを用いて標準医療が実践されているかの検証を継続したのでA評価とした。</li> </ul>																					
		17	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページに掲載している診療実績、クリニカル・インディケーター等の充実を図る。</li> <li>がん関連データ（がん登録データなど）を公表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>厚生労働省が指定したDPCデータをホームページに掲載した(10月)。</li> <li>平成28年度5大がん病期分類別患者数をホームページで公表した。</li> </ul>			A	<ul style="list-style-type: none"> <li>ホームページに掲載している厚生労働省が指定した平成28年度DPCデータを掲載した(10月)。</li> <li>平成28年度5大がん病期分類別患者数をホームページで公表した。</li> <li>○目標どおりに実施したのでA評価とした。</li> </ul>																			
② 患者中心の医療	<ul style="list-style-type: none"> <li>検査及び治療等の選択は患者の意思を尊重し、かつインフォームドコンセントを徹底する。</li> <li>クリニカルパス（電子カルテ上で運用）の改良・運用を推進する。</li> </ul> <p>【目標】</p> <p>クリニカルパス数の増 平成29年度 240種（平成24年度 230種）</p> <p>クリニカルパス適用率の増 平成29年度 55%（平成24年度 44%）</p>	18	<p>②患者中心の医療</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>円滑な入院管理を遂行する。</li> <li>検査及び治療の選択における患者の自己決定権を尊重し、インフォームドコンセントを徹底する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院管理の一元化により、患者の利便性を向上させる目的でベッドコントロール担当者（看護師長1名4ヶ月毎に交代）の配置を継続した。</li> <li>入院支援機能強化を目的とした「入院支援センター」のH30年4月新設準備のためにワーキンググループを立上げ、その一環として当分野での先駆的施設への見学を行いプランに反映させた。</li> <li>診療記録管理委員会にて、治療法の概要、期待される結果、起こり得る有害現象、説明した以外の治療法の有無、拒否も可能である旨の内容が含まれているかなどの項目がインフォームドコンセントの文章に記述されているかを継続的に監視した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院管理の一元化により、患者の利便性を向上させる目的でベッドコントロール担当者（看護師長1名）の配置を継続した。</li> <li>入院支援機能強化を目的とした「入院支援センター」のH30年4月新設準備のためにワーキンググループを立上げ、その一環として当分野での先駆的施設への見学を行いプランに反映させた。（東海大学病院、佐久医療センター、長崎みなとメディカルセンター）</li> <li>診療記録管理委員会にて、治療法の概要、期待される結果、起こり得る有害現象、説明した以外の治療法の有無、拒否も可能である旨の内容が含まれているかなどの項目がインフォームドコンセントの文章に記述されているかを継続的に監視した。</li> <li>○入院支援センター開設の準備、およびインフォームドコンセントの徹底を継続できたのでA評価とした。</li> </ul>																					
		19	<ul style="list-style-type: none"> <li>DPC期間Ⅱに対応したクリニカルパス（電子カルテ上で運用）に改良し、その運用を推進する。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリニカルパス数</td> <td>239種類</td> <td>250種類</td> </tr> <tr> <td>クリニカルパス適用率</td> <td>60%</td> <td>60%</td> </tr> </tbody> </table>	区分			28年度実績	29年度目標	クリニカルパス数	239種類	250種類	クリニカルパス適用率	60%	60%	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリニカルパスの状況は右表のとおりであった。</li> <li>クリニカルパス委員会を中心に、ベンチマークデータやDPC期間Ⅱを参考とし、運用中のパスの改良及びパスの統合を実施した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>クリニカルパス数及び適用率については下表のとおりであった。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> <th>29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリニカルパス数</td> <td>239種類</td> <td>250種類</td> <td>251種類</td> </tr> <tr> <td>クリニカルパス適用率</td> <td>60.1%</td> <td>60%</td> <td>59.4%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○クリニカルパス適用率が目標値を下回ったのでB評価とした。</p>	区分	28年度実績	29年度目標	29年度実績	クリニカルパス数	239種類	250種類	251種類	クリニカルパス適用率	60.1%
		区分	28年度実績	29年度目標																							
		クリニカルパス数	239種類	250種類																							
クリニカルパス適用率	60%	60%																									
区分	28年度実績	29年度目標	29年度実績																								
クリニカルパス数	239種類	250種類	251種類																								
クリニカルパス適用率	60.1%	60%	59.4%																								
20	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院、医療費・医療扶助、がんなどに関する相談に適切に対応する。</li> <li>性暴力被害者の相談に対して、性暴力支援センター・さが（さがmirai）と協力して適切に対応する。</li> <li>認定看護師による[ストーマ外来][がん看護外来]の運用を継続する。</li> <li>薬剤師による服薬指導及び病棟での活動の充実を図る。</li> <li>管理栄養士による栄養指導の充実を図る。</li> <li>リハビリテーション技士による早期リハビリテーションの充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>性暴力被害者支援のため、女性医療ソーシャルワーカーの24時間体制を維持し、関係機関と連携しながら、適切に対応している。</li> <li>認定看護師による[ストーマ外来][がん看護外来]の運用を継続している。</li> <li>医療支援部門の活動実績は以下の通りであった。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療支援部門の活動実績は以下の通りであった。</li> <li>病棟薬剤業務実施加算件数：28,967件（前年度比 456件減）</li> <li>服薬指導件数：11,923件（前年度比 1,597件減）</li> <li>栄養管理指導件数：3,903件（前年度比 76件減）</li> <li>総合計画評価件数：2,397件（前年度比 40件減）</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>各種相談に適切に対応したこと、認定看護師によるストーマ外来・がん看護専門外来の運用を継続したこと、医療支援部門が適切に活動したことによりA評価とした。</li> </ul>																							
21	<ul style="list-style-type: none"> <li>セカンドオピニオン外来を継続する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>セカンドオピニオン外来については18診療科で対応できる体制を維持した。</li> </ul>			A	<ul style="list-style-type: none"> <li>セカンドオピニオン外来:10科対応 受診件数：18件 内訳（4件：消外 2件：腫瘍内、消内、呼内、泌、肝外 1件：循内、産婦、肝内、心外）</li> <li>○セカンドオピニオン外来の体制を維持したのでA評価とした。</li> </ul>																					

項目別の状況

中期目標		第2 県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項		ウエイト	計画の進捗状況	法人の自己評価																				
1 好生館が担うべき医療の提供及び医療水準の向上		2 9年度計画	2 9年度計画			評価	理由																			
(3) 信頼される医療の提供	<p>③ 地域の医療機関との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の医療機関に対し好生館の病院機能（スタッフ、設備等）を紹介するとともに、相互連携、機能分担に取り組む。</li> <li>地域の医療機関との間で、ICT（情報通信技術）を利用し、医療情報の共有化を図る。</li> <li>がん治療において九州国際重粒子線がん治療センター（サガハイマツト）との連携を図る。</li> <li>在宅医療に関しては、県と連携をしながら対応する。</li> </ul> <p>【目標】</p> <table border="1"> <tr> <td>平成24年度</td> <td>平成29年度</td> </tr> <tr> <td>*紹介率の向上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>66%</td> <td>70%</td> </tr> <tr> <td>*逆紹介率の向上</td> <td></td> </tr> <tr> <td>56%</td> <td>60%</td> </tr> <tr> <td>*地域連携クリニカルパス数の増</td> <td></td> </tr> <tr> <td>8種</td> <td>9種</td> </tr> </table>	平成24年度	平成29年度	*紹介率の向上		66%	70%	*逆紹介率の向上		56%	60%	*地域連携クリニカルパス数の増		8種	9種	22	<p>③ 地域の医療機関との連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>地域の医療機関に対し好生館の病院機能（スタッフ、設備等）を紹介するとともに、相互連携、機能分担に積極的に取り組む。</li> <li>地域連携強化のため医療機関を訪問し紹介・逆紹介の増加を図る。</li> <li>連携施設と共同で空床管理システムを運用する。</li> <li>肝炎コーディネーター、糖尿病コーディネーター及びがん地域連携バス・コーディネーターの活動を継続するとともに、引き続き、同電子パスの構築・導入を検討する。</li> <li>地域の医療機関との間で、ICT（情報通信技術）を利用し、医療情報の共有化を図る。</li> <li>佐賀県診療情報地域連携システム協議会事務局として、ピカピカリンクの普及を推進する。</li> <li>がん治療において九州国際重粒子線がん治療センター（サガハイマツト）との連携を図る。（再掲）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐賀県地域医療構想調整会議、中部構想区域分科会に出席した。</li> <li>地域医療連携懇談会を開催し地域医療機関との連携強化を図った。</li> <li>ICTを利用した「空床状況管理システム」の運用を継続している。</li> <li>ピカピカリンクから新たに眼科カルテ画像を閲覧可能とした。</li> <li>佐賀県から受託した「看取り普及啓発事業」を継続し推進した。</li> <li>九州国際重粒子線がん治療センターへの紹介患者数は68人であった。（再掲）</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度佐賀県地域医療構想調整会議（6月8日開催）、中部構想区域分科会（8月28日、11月28日、2月7日）に出席した。</li> <li>地域医療機関との連携強化を目的として、地域医療連携懇談会を開催した。9月22日開催 [参加施設数：73施設 参加者数：172名]</li> <li>地域医療機関との連携強化を目的として、整形外科地域連携懇談会を開催した。12月15日開催 [参加施設数：29施設 参加者数：58名]</li> <li>H27年5月から連携施設とICTを利用した「空床状況管理システム」の運用を継続している（登録23施設）。</li> <li>ピカピカリンクから新たに眼科カルテ画像を閲覧可能とした。</li> <li>佐賀県から受託した「看取り普及啓発事業」で地域での緩和ケア講習会（4ヶ所）、緩和ケア実務研修（4施設）、実務研修フィードバック（5施設）を実施した。</li> <li>九州国際重粒子線がん治療センターへの紹介患者数：68人（前年度比 14人増）（再掲）</li> <li>入退院機能強化を目的とした「入退院支援センター」をH30年4月に新設するために、当分野での先駆的施設への見学を行いプランに反映させた。（東海大学病院、佐久医療センター、長崎みなとメディカルセンター）（再掲）</li> <li>MSW2名増員し、10名体制とし退院支援の強化を図った。</li> </ul> <p>○地域医療連携懇談会の開催、看取り事業の推進等で地域医療機関と連携を強化し、連携先との調整を行う入退院支援センターの新設準備が完了したのでA評価とした。</p>						
		平成24年度	平成29年度																							
		*紹介率の向上																								
66%	70%																									
*逆紹介率の向上																										
56%	60%																									
*地域連携クリニカルパス数の増																										
8種	9種																									
	23	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域医療包括ケアシステム推進のため介護施設等との連携を図る。</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>28年度実績</td> <td>29年度目標</td> </tr> <tr> <td>紹介率</td> <td>87.4%</td> <td>88%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>116.1%</td> <td>112%</td> </tr> </table>	区分	28年度実績	29年度目標	紹介率	87.4%	88%	逆紹介率	116.1%	112%	<ul style="list-style-type: none"> <li>紹介率、逆紹介率については右表のとおりであった。</li> <li>医療施設（延べ225軒）を訪問し、好生館の医療機能の説明を行なった。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>紹介率、逆紹介率は目標を上回った。（下表）</li> </ul> <table border="1"> <tr> <td>区分</td> <td>28年度実績</td> <td>29年度目標</td> <td>29年度実績</td> </tr> <tr> <td>紹介率</td> <td>87.4%</td> <td>88%</td> <td>88.3%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>116.1%</td> <td>112%</td> <td>122.0%</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>医療施設（延べ225軒）を訪問し、好生館の医療機能の説明を行なった。</li> </ul> <p>○紹介率、逆紹介率ともに目標値を上回ったのでA評価とした。</p>	区分	28年度実績	29年度目標	29年度実績	紹介率	87.4%	88%	88.3%	逆紹介率	116.1%	112%	122.0%
区分	28年度実績	29年度目標																								
紹介率	87.4%	88%																								
逆紹介率	116.1%	112%																								
区分	28年度実績	29年度目標	29年度実績																							
紹介率	87.4%	88%	88.3%																							
逆紹介率	116.1%	112%	122.0%																							
	24	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域連携クリニカルパスの種類：9種類</li> <li>既に運用：脳卒中、大腿骨頸部骨折</li> <li>胃がん、大腸がん、肺がん、肝臓がん、食道がん、乳がん、前立腺がん</li> <li>地域の医療関係者及び県民に広く好生館の診察内容などを知ってもらうための広報誌を作成し、配布する。</li> </ul> <p>広報誌：「好生館（病院紹介）」「好生館だより」「好生館年報」「診療のご案内」「救命救急センター」「外傷センター」「脳卒中センター」「周産期母子センター」「ハートセンター」「プレストセンター」「がんセンター」「リハビリテーションセンター」「循環センター」「好整」「Surgery」など</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域連携バス「脳卒中バス」「大腿骨近位部骨折バス」、「がんバス」を運用した。</li> <li>地域の医療関係者及び県民に広く好生館の診察内容などを知ってもらうための広報誌に加えリーフレットを作成、配布した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>脳卒中連携機関数：35施設 患者数：506名（前年度比 81名増）</li> <li>大腿骨近位部骨折連携機関数：19施設 患者数：176名（前年度比 1名減）</li> <li>がんバス登録施設数：179施設 患者数：97名（前年度比 8名増）</li> <li>病院パンフレット「好生館（平成29年度版）」を作成、配布した（6月）。</li> <li>以下のパンフレット、リーフレットを作成、配布した。</li> </ul> <p>各センターパンフレット（7月） H29年度診療のご案内（7月） 英語版好生館パンフレット（11月） 脳卒中ホットラインステッカー（4月） 医療安全ニュースバックナンバー冊子（10月） ICTニュースバックナンバー冊子（10月）</p> <p>○新規パンフレット、リーフレットを作成、配布したことや、地域連携バスを継続運用したので、A評価とした。</p>																					
(4) 災害時等の協力		25	<ul style="list-style-type: none"> <li>基幹災害拠点病院として、災害時に必要な診療機能を発揮できる体制を確保する。</li> <li>災害時等において患者が集中する医療機関や救護所からの要請を受けて医療従事者の応援派遣等の協力を行う。</li> <li>災害時において災害派遣医療チーム（DMAT）を現地に派遣して救護活動を行う。</li> <li>災害医療に従事する職員の養成を行う。</li> <li>被災者医療に携わる人材を育成するため、原子力災害訓練等に積極的に参加するとともに、機能整備の強化に取り組む。</li> <li>原子力災害発生時においては、二次被災者医療機関として受け入れ可能な被災者患者に、必要な医療を提供できるよう県と連携をとりながら体制を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時通信確保に「固定型衛星通信システム」を設置した。</li> <li>患者受入状況を災害対策本部で確認できるようモニター設備を整備した。</li> <li>九州沖縄ブロック緊急消防援助隊訓練に医師等10名が参加した。（11月11-12日）（医師3名、看護師2名、ME1名、救急救命士2名、事務2名）</li> <li>九州沖縄ブロックDMAT実働訓練（佐賀県開催）に医師等11名が参加した。（1月27日）（医師3名、看護師5名、放射線技師2名、事務1名）</li> <li>平成29年度打ち通報・参集準備訓練に医師等9名が参加した。（9月26日）（医師2名、看護師2名、救急救命士3名、事務2名）</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>災害時の通信を確保するために「固定型衛星通信システム」を設置した。</li> <li>災害時の患者受入状況を災害対策本部で確認できるようモニター設備を整備した。</li> <li>九州沖縄ブロック緊急消防援助隊訓練に医師等10名が参加した。（11月11-12日）（医師3名、看護師2名、ME1名、救急救命士2名、事務2名）</li> <li>九州沖縄ブロックDMAT実働訓練（佐賀県開催）に医師等11名が参加した。（1月27日）（医師3名、看護師5名、放射線技師2名、事務1名）</li> <li>平成29年度打ち通報・参集準備訓練に医師等9名が参加した。（9月26日）（医師2名、看護師2名、救急救命士3名、事務2名）</li> </ul> <p>○災害用設備の充実、訓練によるスキルの維持向上を行ったのでA評価とした。</p>																				
		26	<ul style="list-style-type: none"> <li>被災者医療に携わる人材の育成、研修受講の推進、原子力災害訓練等に積極的に参加すると共に機能整備の強化に取り組む。</li> <li>原子力災害発生時においては、原子力災害拠点病院として受け入れ可能な被災者患者に、必要な医療を提供できるよう県と連携をとりながら体制を確保する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「平成29年度佐賀県原子力防災訓練」に医師等36名が参加した。（9月3-4日）（医師5名、看護師9名、放射線技師5名、その他17名）</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>「平成29年度佐賀県原子力防災訓練」に医師等36名が参加した。（9月3-4日）（医師5名、看護師9名、放射線技師5名、その他17名）</li> </ul> <p>○訓練への参加等で原子力災害に備える体制を維持できたのでA評価とした。</p>																				
		27	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型インフルエンザ等の発生時には、県と連携し対応する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐賀中部地区新型インフルエンザ等対応訓練に参加した。（3月15日）</li> <li>N95マスクの確実な密着性を確認するため、定量フィットテスターを用いて、感染医療従事者による定量的フィットテストを実施した。（再掲）</li> <li>感染医療従事者を対象に、個人防護具脱着訓練を実施した。（再掲）</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐賀中部地区新型インフルエンザ等対応訓練に参加した。（3月15日）（医師1名、看護師4名、検査技師3名、事務6名）</li> <li>感染医療従事者を対象に、個人防護具脱着訓練を実施した。（再掲）</li> </ul> <p>○新型インフルエンザに対する訓練を予定通り行ったのでA評価とした。</p>																				

項目別の状況

中期目標		第2 県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項		ウエイト	計画の進捗状況	評価	法人の自己評価理由																																																																																	
2 患者・県民サービスの一層の向上		29年度計画					理由																																																																																	
2 期中期計画		29年度計画																																																																																						
(1) 患者の利便性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者満足度調査を実施し、患者ニーズを的確に把握し、利便性の向上に努め、快適な療養環境の提供に努める。</li> </ul> <p>【目標】</p> <p>患者アンケートに基づく満足度の向上            入院 平成29年度 85.0%            (平成24年度 83.5%)            外来 平成29年度 82.0%            (平成24年度 80.8%)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>急性期医療の診療に重点を置くとともに、診療予約の推進等により待ち時間の短縮を図ることを通して患者満足度の向上に努める。</li> </ul>	28	<ul style="list-style-type: none"> <li>入院/外来患者満足度調査等により患者ニーズを的確に把握し、患者の利便性向上を図る。</li> </ul> <table border="1"> <tr><td colspan="3">[総合満足度]</td></tr> <tr><td>区分</td><td>28年度実績</td><td>29年度目標</td></tr> <tr><td>入院</td><td>99%</td><td>98%</td></tr> <tr><td>外来</td><td>84%</td><td>90%</td></tr> <tr><td colspan="3">(「満足」+「やや満足」)の構成比</td></tr> </table>	[総合満足度]			区分	28年度実績	29年度目標	入院	99%	98%	外来	84%	90%	(「満足」+「やや満足」)の構成比			<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月、看護部が主体となって入院患者に対する患者満足度調査を実施した。職員の接遇に関する満足度は下表のとおりであった。</li> </ul> <table border="1"> <tr><td>職員に対する満足度</td><td>満足度(%)</td></tr> <tr><td>医師</td><td>99%</td></tr> <tr><td>看護師</td><td>99%</td></tr> <tr><td>薬剤師</td><td>99%</td></tr> <tr><td>放射線技師</td><td>99%</td></tr> <tr><td>検査技師</td><td>99%</td></tr> <tr><td>栄養士</td><td>99%</td></tr> <tr><td>リハビリテーション療養士</td><td>99%</td></tr> <tr><td>事務職員(受付委託職員含む)</td><td>98%</td></tr> </table> <p>[ H29年度年間集計 ]</p> <table border="1"> <tr><td>食事に対する満足度</td><td>満足度(%)</td></tr> <tr><td>食事の外観(見た目)</td><td>94%</td></tr> <tr><td>メニュー</td><td>90%</td></tr> <tr><td>味</td><td>87%</td></tr> <tr><td>食事の保温状態(適温)</td><td>87%</td></tr> </table> <p>注) [(満足) + (やや満足)]を「満足度%」としている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>デジタルサイネージに対するアンケートでの要望調査や新規番組の提供を行った。</li> </ul>	職員に対する満足度	満足度(%)	医師	99%	看護師	99%	薬剤師	99%	放射線技師	99%	検査技師	99%	栄養士	99%	リハビリテーション療養士	99%	事務職員(受付委託職員含む)	98%	食事に対する満足度	満足度(%)	食事の外観(見た目)	94%	メニュー	90%	味	87%	食事の保温状態(適温)	87%	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>入院/外来患者満足度調査の結果は次のとおりである。            (入院：通年で実査、外来：10月16日～11月2日実査)            入院：[配布数]12,602名 [回収数]4,061名 [回収率]32.2%            *入院患者満足度調査回収率は前年度比3.7P増であった。            外来：[配布数]1,806名 [回収数]1,485名 [回収率]82.1%</li> </ul> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>28年度実績</td><td>29年度目標</td><td>29年度実績</td></tr> <tr><td>入院</td><td>99%</td><td>98%</td><td>99%</td></tr> <tr><td>外来</td><td>84%</td><td>90%</td><td>89%</td></tr> <tr><td colspan="4">(「満足」+「やや満足」)の構成比</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>調査項目</td><td>H28実績</td><td>H29実績</td></tr> <tr><td>施設・入院環境に対する満足度</td><td>98%</td><td>98%</td></tr> <tr><td>医師の対応に対する満足度</td><td>99%</td><td>99%</td></tr> <tr><td>看護師の対応に対する満足度</td><td>99%</td><td>99%</td></tr> <tr><td>その他職員に対する満足度</td><td>99%</td><td>99%</td></tr> </table> <table border="1"> <tr><td>調査項目</td><td>H28実績</td><td>H29実績</td></tr> <tr><td>今後も好生館を利用したい</td><td>99%</td><td>99%</td></tr> <tr><td>親戚・友人に好生館を紹介したい</td><td>98%</td><td>98%</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>外来の総合満足度は目標値を1ポイント下回った。</li> <li>デジタルサイネージに対するアンケートでの要望調査や新規番組の提供を行った。(新規：42番組 更新：34番組)</li> <li>○外来満足度が目標値を下回ったのでB評価とした。</li> </ul>	区分	28年度実績	29年度目標	29年度実績	入院	99%	98%	99%	外来	84%	90%	89%	(「満足」+「やや満足」)の構成比				調査項目	H28実績	H29実績	施設・入院環境に対する満足度	98%	98%	医師の対応に対する満足度	99%	99%	看護師の対応に対する満足度	99%	99%	その他職員に対する満足度	99%	99%	調査項目	H28実績	H29実績	今後も好生館を利用したい	99%	99%	親戚・友人に好生館を紹介したい	98%	98%
		[総合満足度]																																																																																						
区分	28年度実績	29年度目標																																																																																						
入院	99%	98%																																																																																						
外来	84%	90%																																																																																						
(「満足」+「やや満足」)の構成比																																																																																								
職員に対する満足度	満足度(%)																																																																																							
医師	99%																																																																																							
看護師	99%																																																																																							
薬剤師	99%																																																																																							
放射線技師	99%																																																																																							
検査技師	99%																																																																																							
栄養士	99%																																																																																							
リハビリテーション療養士	99%																																																																																							
事務職員(受付委託職員含む)	98%																																																																																							
食事に対する満足度	満足度(%)																																																																																							
食事の外観(見た目)	94%																																																																																							
メニュー	90%																																																																																							
味	87%																																																																																							
食事の保温状態(適温)	87%																																																																																							
区分	28年度実績	29年度目標	29年度実績																																																																																					
入院	99%	98%	99%																																																																																					
外来	84%	90%	89%																																																																																					
(「満足」+「やや満足」)の構成比																																																																																								
調査項目	H28実績	H29実績																																																																																						
施設・入院環境に対する満足度	98%	98%																																																																																						
医師の対応に対する満足度	99%	99%																																																																																						
看護師の対応に対する満足度	99%	99%																																																																																						
その他職員に対する満足度	99%	99%																																																																																						
調査項目	H28実績	H29実績																																																																																						
今後も好生館を利用したい	99%	99%																																																																																						
親戚・友人に好生館を紹介したい	98%	98%																																																																																						
		29	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療予約の推進等により待ち時間の短縮を図ることを通して患者満足度の向上に努める。</li> <li>ICT等の活用により外来患者待ち時間を継続的に把握し、待ち時間の短縮を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>朝の採血待ち時間を短縮するために中央処置室の採血台を増設した。(11月～ 採血台：6台 ⇒ 8台)            平均採血待ち時間は4分短縮(20分⇒16分)し、採血待ち時間が30分以上の患者は2割から1割弱へ減少した。</li> <li>インターネット予約システムの予約枠を追加した。(物忘れ外来)</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>朝の採血待ち時間を短縮するために中央処置室の採血台を増設した。(11月～ 採血台：6台 ⇒ 8台)            平均採血待ち時間は4分短縮(20分⇒16分)し、採血待ち時間が30分以上の患者は2割から1割弱へ減少した。</li> <li>インターネット予約システムの予約枠を追加した。(物忘れ外来)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>外来の診察待ち時間は次のとおりであった。</li> </ul> <table border="1"> <tr><td>調査項目</td><td>H27実績</td><td>H28実績</td><td>H29実績</td></tr> <tr><td>時間面満足度(診察待ち時間)</td><td>58分</td><td>43分</td><td>39分</td></tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>診療待ち時間は昨年度調査時よりも4分短縮した。</li> <li>○外来患者満足度調査の結果、待ち時間が前年調査時よりも4分短縮したのでA評価とした。</li> </ul>	調査項目	H27実績	H28実績	H29実績	時間面満足度(診察待ち時間)	58分	43分	39分																																																																											
調査項目	H27実績	H28実績	H29実績																																																																																					
時間面満足度(診察待ち時間)	58分	43分	39分																																																																																					
(2) 職員の接遇向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員を対象とした接遇研修を実施するとともに、部門ごとに接遇目標を設定するなど接遇の向上に努める。</li> </ul> <p>【目標】</p> <p>接遇研修 全職員 年1回以上受講            接遇目標 患者・家族へのあいさつや、自己紹介の徹底、丁寧な言葉での対応等</p>	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員を対象とした接遇研修を実施するとともに、部門ごとに接遇目標を設定し実行する。</li> <li>接遇指導者による院内ラウンドを強化する。</li> </ul> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>28年度実績</td><td>29年度目標</td></tr> <tr><td>全職員対象接遇研修</td><td>3回</td><td>3回</td></tr> </table>	区分	28年度実績	29年度目標	全職員対象接遇研修	3回	3回	<ul style="list-style-type: none"> <li>昨年度に引き続き、各部門ごとに「コミュニケーションリーダー」を任命し、医療コミュニケーションの改善に努めた。</li> <li>毎月、接遇指導者(外部者)が館内をラウンドし、改善点は委員会で報告を受けたのち、職員に対して病院運営会議で結果報告し、改善に努めている。</li> <li>また、館内イントラネットを使用して、接遇に関するトピックスをまとめた「好生館さわやかさん」(毎月)を発信している。</li> <li>4月入職職員全員を対象とした「採用時接遇研修」を開催した(4月3日)</li> <li>接遇向上の一環として医療コミュニケーション研修を開催した。            - 「対応力向上研修～コミュニケーションの基本は挨拶から～」(7月6日)            講師：(株)NCBサーチ&amp;コンサルティング 松下幸子氏 受講者：121名</li> <li>看護部接遇トレーナーが病棟担当者へロールプレイング研修を実施した。(3回)</li> <li>各部署の年間目標を医療コミュニケーション推進委員会を通じて共有し、その活動結果のトレースも実施した。(毎月)</li> </ul>	<p>B</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月、接遇指導者(外部者)が館内をラウンドし、改善点は委員会で報告を受けたのち、職員に対して病院運営会議で結果報告し、改善に努めている。</li> <li>また、館内イントラネットを使用して、接遇に関するトピックスをまとめた「好生館さわやかさん」(毎月)を発信している。</li> <li>4月入職職員全員を対象とした「採用時接遇研修」を開催した(4月3日)</li> <li>接遇向上の一環として医療コミュニケーション研修を開催した。            - 「対応力向上研修～コミュニケーションの基本は挨拶から～」(7月6日)            講師：(株)NCBサーチ&amp;コンサルティング 松下幸子氏 受講者：121名</li> </ul> <table border="1"> <tr><td>区分</td><td>28年度実績</td><td>29年度目標</td><td>29年度実績</td></tr> <tr><td>全職員対象接遇研修</td><td>3回</td><td>3回</td><td>2回</td></tr> </table> <p>(3月予定の医療コミュニケーション研修がハラスメント防止研修へ変更になったので1回減)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>看護部接遇トレーナーが病棟担当者へロールプレイング研修を実施した。(3回)</li> <li>各部署の年間目標を医療コミュニケーション推進委員会を通じて共有し、その活動結果のトレースも実施した。(毎月)</li> </ul> <p>○全職員対象接遇研修数が目標値を下回ったのでB評価とした。</p>	区分	28年度実績	29年度目標	29年度実績	全職員対象接遇研修	3回	3回	2回																																																																					
区分	28年度実績	29年度目標																																																																																						
全職員対象接遇研修	3回	3回																																																																																						
区分	28年度実績	29年度目標	29年度実績																																																																																					
全職員対象接遇研修	3回	3回	2回																																																																																					
(3) ボランティアとの協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアを積極的に受け入れ、職員と連携をとりながら患者サービスの向上に取り組む。</li> <li>ボランティアの活動が円滑に行われるよう支援する。</li> </ul>	31	<ul style="list-style-type: none"> <li>ボランティアを積極的に受け入れ、職員と連携をとりながら患者サービスの向上に取り組む。</li> <li>ボランティアの活動が円滑に行われるよう支援する。</li> <li>病院ホームページの「ボランティアの広場」の運用を継続する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎月第3金曜日にボランティア活動会議を開催し、ボランティアとの意見交換を行った。</li> <li>アニマルセラピーの活動を継続した。</li> <li>緩和ケア病棟では、「お茶会」「コンサート」「陶芸」を継続実施した。</li> <li>ボランティア講座「認知症サポーター要請講座」を開催した。            [12月19日 演者：おたっしや本舗大和 池田氏、原口氏 (受講者 15名)]</li> <li>ホームページ「ボランティアの広場」の運用を継続した。</li> <li>平成29年度はボランティア45名が活動した。</li> </ul>	<p>A</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>毎月第3金曜日にボランティア活動会議を開催し、ボランティアとの意見交換を行った。</li> <li>アニマルセラピーの活動を継続した。</li> <li>緩和ケア病棟では、「お茶会」「コンサート」「陶芸」を継続実施した。</li> <li>館内でのボランティア活動が円滑に行われるよう、外部から講師を招き、研修会を開催した。ボランティア講座「認知症サポーター要請講座」            [12月19日 演者：おたっしや本舗大和 池田氏、原口氏 (受講者 15名)]</li> <li>ホームページ「ボランティアの広場」の運用を継続した。</li> </ul> <p>○ボランティアと協業でサービス向上に努めたのでA評価とした。</p>																																																																																			

項目別の状況

中期目標		第2 県民に提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項															
3 社会的責任の遂行																	
2 期中期計画		2 9年度計画		ウェイト	計画の進捗状況	法人の自己評価											
						評価	理由										
(1) 環境への負荷の小さい病院運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物を分別し、可能な限りリサイクルに努める。</li> <li>新エネルギーやクリーンエネルギーを適切に組み合わせたエネルギーシステムを活用し、省エネルギー、省資源化等に取り組む。</li> </ul> <p>【目標】 コピー用紙の削減</p> <p>平成29年度 コピー用紙の使用量は、平成25年度実績以内</p>	32	<ul style="list-style-type: none"> <li>廃棄物を分別化を一層推進し、古紙についてはリサイクルの徹底を図る（毎週木曜日回収）。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>医療廃棄物と一般廃棄物の分別を徹底している。</li> <li>リサイクルに変更した書類廃棄（紙全般）を継続している。[紙総量：29,520kg]</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎週、感染制御部が主体となってラウンドを実施し、医療廃棄物と一般廃棄物の分別状況の確認を行った。また、問題のあると思われる部署に対しては適切に指導を行った。</li> <li>リサイクルに変更した書類廃棄（紙全般）を継続している。[紙総量：29,520kg]</li> <li>処理金額の実績については下表のとおりであった。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> <th>削減額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>廃棄物処理金額(千円)</td> <td>27,209</td> <td>26,657</td> <td>△552</td> </tr> </tbody> </table> <p>○廃棄物処理金額が前年度より減額できたこと、紙リサイクルの運用が継続できていることなどにより、A評価とした。</p>	区分	28年度実績	29年度実績	削減額	廃棄物処理金額(千円)	27,209	26,657	△552		
		区分	28年度実績	29年度実績	削減額												
廃棄物処理金額(千円)	27,209	26,657	△552														
33	<ul style="list-style-type: none"> <li>新エネルギーやクリーンエネルギーを適切に組み合わせたエネルギーシステムを活用し、省エネルギー、省資源化等省CO<sub>2</sub>に取り組む。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の省エネルギー行動を啓発・誘導し、省エネルギー達成度検討のため、省エネルギー推進委員会を開催した。（7月13日、2月7日）</li> <li>空調の設定温度や消灯などの状況確認のため、夏・冬などの設定切り替え時期にラウンドを行った。</li> <li>空調熱源（電気、ガス、重油）の運用方法を見直し、エネルギー消費量の抑制に努めた。</li> <li>建物を利用した太陽光発電を継続している。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の省エネルギー行動を啓発・誘導し、省エネルギー達成度検討のため、省エネルギー推進委員会を開催した。（7月13日、2月7日）</li> <li>空調の設定温度や消灯などの状況確認のため、夏・冬などの設定切り替え時期にラウンドを行った。</li> <li>空調熱源（電気、ガス、重油）の運用方法を見直し、エネルギー消費量の抑制に努めた。</li> <li>エネルギー消費量については下表のとおりであった。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>建設時推計値</th> <th>26年度実績</th> <th>27年度実績</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>エネルギー消費量(MJ/㎡・年)</td> <td>3,102</td> <td>2,892</td> <td>2,799</td> <td>2,839</td> <td>2,898</td> </tr> </tbody> </table> <p>建設時推計値(3,102MJ/㎡・年)：当院建設時の単位床面積当たりの年間消費エネルギー計算値</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>建物を利用した太陽光発電を継続している。</li> </ul> <p>○省エネルギーの活動の結果、エネルギー消費量を適切に管理、抑制しているのでA評価とした。</p>	区分	建設時推計値	26年度実績	27年度実績	28年度実績	29年度実績	エネルギー消費量(MJ/㎡・年)	3,102	2,892	2,799	2,839	2,898
区分	建設時推計値	26年度実績	27年度実績			28年度実績	29年度実績										
エネルギー消費量(MJ/㎡・年)	3,102	2,892	2,799	2,839	2,898												
(2) 社会的信頼の向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報保護関係法令の遵守について、全職員が認識を高め、実践できるよう、定期的に職員研修を実施する。</li> </ul> <p>【目標】 セキュリティーポリシー研修 全職員 年1回以上受講</p>	34	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人情報保護関係法令の遵守について、全職員が認識を高め、実践できるよう定期的に職員研修を実施する。</li> </ul> <p>【目標】 セキュリティーポリシー研修 全職員 年1回以上受講</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員を対象として、毎月情報セキュリティの確保のための遵守事項に関するセルフチェック（個別研修）を実施している。</li> <li>情報セキュリティの重要ポイントを理解及び再認識し、更なるリスク意識の向上を図るため、情報セキュリティ研修会を開催した。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>全職員を対象として、毎月情報セキュリティの確保のための遵守事項に関するセルフチェック（個別研修）を実施している。</li> <li>情報セキュリティの重要ポイントを理解及び再認識し、更なるリスク意識の向上を図るため、情報セキュリティ研修会を開催した。</li> <li>- 「医療機関における情報セキュリティリスクとその対策」（1月10日）（受講者126名 研修会当日：88名、DVD研修会：38名）</li> </ul> <p>○一部の職員がセキュリティーポリシー研修を受講できなかったためB評価とした。</p>										
(3) 医療・健康の情報発信	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院の持つ専門的医療情報を基に、県民を対象にした講座の開催や、ホームページ等により、疾病等や健康に関する医療情報の発信及び普及に取り組む。</li> <li>佐賀県個人情報保護条例及び診療情報の提供に関する指針等に基づき、患者のプライバシーの保護を図るとともに、患者及びその家族に対し、カルテ（診療録）・レセプト（診療報酬明細書）等の情報開示を適切に行う。</li> </ul> <p>【目標】 県民公開講座 年2回以上開催</p>	35	<ul style="list-style-type: none"> <li>病院の持つ専門的医療情報を基に、県民を対象にした講座の開催や、ホームページ等により、疾病等や健康に関する医療情報の発信及び普及に取り組む。</li> <li>佐賀県個人情報保護条例及び診療情報の提供に関する指針等に基づき、患者のプライバシーの保護を図るとともに、患者及びその家族に対し、カルテ（診療録）・レセプト（診療報酬明細書）等の情報開示を適切に行う。</li> <li>「佐賀県の食と健康」のホームページを通じて食と健康の情報発信を継続する。</li> </ul> <p>【目標】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>県民公開講座の開催：2回/年</li> <li>広報誌の発刊（再掲）</li> <li>「好生館（病院紹介）」「好生館だより」「好生館年報」 「診療のご案内」 「救命救急センター」 「外傷センター」 「脳卒中センター」 「周産期母子センター」 「ハートセンター」 「プレストセンター」 「がんセンター」 「リハビリテーションセンター」 「循環センター」 「好整」 「Surgery」 など</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>県民公開講座を2回開催した。</li> <li>地域住民対象に出前講座、文化講演会を3回開催した。</li> <li>地域の医療関係者及び県民に広く好生館の診察内容などを知ってもらうための広報誌に加えリーフレットを作成、配布した。（再掲）</li> <li>情報公開手順書等に基づいて、関係部署にて適切に情報開示を行った。カルテ開示数：162件（前年度比 5件増）</li> <li>「佐賀県の食と健康」のホームページを通じて季節毎の「さがランチ」、「よい食習慣」等の情報発信を継続した。</li> </ul>			A	<ul style="list-style-type: none"> <li>県民公開講座を2回開催した。[参加者総数：502名]</li> <li>「心臓病から命を守る」 [10月28日開催 参加者数：220名]</li> <li>「がんと共に生きる」 [12月9日開催 参加者数：282名]</li> <li>地域住民対象に出前講座、文化講演会を3回開催した。</li> <li>「心臓と血管は、長生きと健康のかなめ」(5月19日)</li> <li>「大腸癌」(11月15日、1月24日)</li> <li>「好生館だより」を発行した(4月、7月、10月、1月)。</li> <li>以下のパンフレット、リーフレットを作成、配布した。（再掲）</li> <li>病院パンフレット「好生館(平成29年度版)」(6月)</li> <li>各センターパンフレット(7月)</li> <li>H29年度診療のご案内(7月)</li> <li>英語版好生館パンフレット(11月)</li> <li>脳卒中ホットラインステッカー(4月)</li> <li>医療安全ニュースバックナンバー冊子(10月)</li> <li>ICTニュースバックナンバー冊子(10月)</li> <li>情報公開手順書等に基づいて、関係部署にて適切に情報開示を行った。カルテ開示数：162件（前年度比 5件増）</li> <li>「佐賀県の食と健康」のホームページを通じて季節毎の「さがランチ」、「よい食習慣」等の情報発信を継続した。</li> </ul> <p>○個人情報保護法等の法規を遵守しつつカルテ開示を行い、また、さまざまな機会を通し医療情報を県民・地域住民へ提供したのでA評価とした。</p>								

項目別の状況

中期目標		第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項					
1 業務の改善・効率化							
2 期中期計画		29年度計画		ウエイト	計画の進捗状況	法人の自己評価	
						評価 理由	
(1) 効率的な業務運営	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療需要の動向・変化に応じて、業務執行体制や診療科・診療体制の見直しを行っていく。</li> <li>各職員が専門性を十分に発揮できる体制の整備や柔軟な職員配置を行う。</li> </ul>	36	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域医療構想等の外部環境変化に対応できる診療体制/組織体制を構築する。</li> <li>ISO15189（臨床検査室の品質と能力に関する国際規格）認定後の定例審査（毎年）を受ける。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>佐賀県地域医療構想調整会議、中部構想区域分科会に出席した。（再掲）</li> <li>上記会議で「公的医療機関等2025プラン（好生館）」を説明した。（2月7日）</li> <li>主治医制から複数主治医制へ診療体制の変更を行った。</li> <li>業務運営の効率化・強化のため組織改編し契約係を財務課へ編入した。</li> <li>国際規格ISO15189:2012「臨床検査室－品質と能力に関する特定要求事項－」の定例審査日程は変更となった。（平成30年6月下旬～7月初旬）。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度佐賀県地域医療構想調整会議（6月8日開催）、中部構想区域分科会（8月28日、11月28日、2月7日）に出席した。（再掲）</li> <li>上記会議で「公的医療機関等2025プラン（好生館）」を説明した。（2月7日）</li> <li>主治医制から複数主治医制へ診療体制の変更を行った。</li> <li>業務運営の効率化・強化のため組織改編し契約係を財務課へ編入した。</li> <li>○佐賀県医療構想の会議へ参加し資料等提供したこと、医療環境の変化に対応できるよう組織改編したこと等によりA評価とした。</li> </ul>
(2) 事務部門の専門性向上	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務部門における業務運営の効率化を図りつつ、職員研修の充実等により専門的知識の習得を促進する。</li> <li>プロパー職員の採用を計画的に進め、病院事務としての専門性を高める。</li> </ul> <p>【目標】</p> <p>プロパー職員数の増 平成29年度 24名 （平成24年度 12名）</p>	37	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員研修の充実等により専門的知識の習得を促進する。</li> <li>事務部職員のプロパー化を進める。</li> <li>学会等での事務職員の発表及び参加を促進する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職員の採用を推進した。</li> <li>H29年度中途採用：2人</li> <li>H30年度新規採用：7人（内定）</li> <li>事務職員の学会等への参加を支援した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>事務職員の学会等への参加を支援した。</li> <li>- 第19回日本医療マネジメント学会学術総会で発表を行った（7月7-8日）。 「ピカピカリンクへのカルテ記事公開を始めとする公開情報拡充の取組の効果」</li> <li>- 第56回全国自治体病院学会で発表を行った（10月19-20日）。 「DPCII群維持のための対策について」</li> <li>- 第6回全国ID-Link研究会で発表を行った（7月15日）。 「可視化したID-Linkのアクセスログ等のデータを活用したピカピカリンク利用促進の取組」</li> <li>- 日本医療マネジメント学会第16回九州・山口連合大会で発表を行った（12月1-2日）。 「医師と医療秘書それぞれから見た医療秘書業務の評価と課題」</li> <li>事務職員の採用を推進した。</li> <li>H29年度中途採用：2人</li> <li>H30年度新規採用：7人（内定）</li> <li>○事務職員の採用を計画的に進めたこと、学会等での事務職員の発表及び参加を促進できたことによりA評価とした。</li> </ul>
(3) 人事評価制度の構築	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の業績や能力を適正に評価し、相応な処遇を受けられるよう、人事評価制度を導入する。</li> </ul>	38	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員の業績や能力を適正に評価する人事評価制度を診療部長に適用する。</li> <li>一般職員対象の人事評価を実施する。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>人事評価制度を正式に実施した。</li> <li>- 「目標達成度評価」の「目標」を部署別に設定した。（6月～10月）</li> <li>- 全職員に対し平成29年度の「行動評価」を実施した。（H30年3月）</li> <li>職員満足度調査（2月）を実施し職場環境の点検・評価を行った。（配布 1,100枚、回収696枚、回答率63.3%）</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>人事評価制度を正式に実施した。</li> <li>- 「目標達成度評価」の「目標」を部署別に設定した。（6月～10月）</li> <li>- 全職員に対し平成29年度の「行動評価」を実施した。（H30年3月）</li> <li>職員満足度調査（2月）を実施し職場環境の点検・評価を行った。（配布 1,100枚、回収696枚、回答率63.3%）</li> <li>○人事評価制度に関して、スケジュールどおりに実施したのでA評価とした。</li> </ul>

項目別の状況

中期目標		第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項 2 経営基盤の安定化		ウェイト	計画の進捗状況	法人の自己評価																																		
2 期中期計画		2 9年度計画				評価	理由																																	
(1) 収益の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>医療機能に応じた施設基準を取得するとともに、適正な診療報酬の請求に取り組む。</li> <li>DPCで設定されている平均在院日数を目標に、効率的な病床管理を徹底し、収入の確保に取り組む。</li> <li>生活困窮等による支払い遅延を防止するため病院内の関係部署間で連携するとともに限度額適用認定証の交付の案内など公的扶助制度を活用することで未収金の発生を未然に防止するとともに、未収金の早期回収に取り組む。</li> </ul>	39	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療報酬の請求漏れ及び減点の防止に取り組む。</li> <li>平成30年度診療報酬改訂に向けて適切に対応できる体制を整える。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>保険診療委員会で保険減点査定防止対策を周知徹底した。(月1回)</li> <li>2月にDPC特定病院群(これまでのII群)の内示を受けた。</li> <li>医療機能に応じた施設基準を九州厚生局に提出した。</li> <li>「精神科リエゾンチーム」を設置できたことにより「総合入院体制加算2」を算定できるようになった。</li> </ul>	<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>保険診療委員会で保険減点査定防止対策を周知徹底した。(月1回)</li> <li>2月にDPC特定病院群(これまでのII群)の内示を受けた。</li> <li>医療機能に応じた施設基準を九州厚生局に提出した。</li> <li>以下の施設基準を新たに取得(変更)した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ー病理診断管理加算2(1からの変更)(4月)</li> <li>ー口腔病理診断管理加算2(1からの変更)(4月)</li> <li>ー検体検査管理加算4(5月に復活)</li> <li>ー腹腔鏡下子宮悪性腫瘍手術(子宮体がんに限る。)(7月)</li> <li>ー総合入院体制加算2(8月)</li> <li>ー内視鏡下筋層切開術(8月)</li> <li>ー精神科リエゾンチーム加算(8月)</li> <li>ー精神疾患診療体制加算(9月)</li> <li>ーADL維持向上等体制加算(9月)</li> <li>ー新生児特定集中治療室管理料2(11月)</li> <li>ー認知症ケア加算2(H30年3月)</li> </ul> </li> </ul> <p>○DPC特定病院群の内示を受けたこと、新たに上記の施設基準を取得したこと等によりA評価とした。</p>																																	
		40	<ul style="list-style-type: none"> <li>DPCで設定されている平均在院日数を目標に、効果的な病床管理を徹底し、診療密度の向上を図る。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>9.9日</td> <td>9.9日</td> </tr> <tr> <td>病床稼働率</td> <td>88.3%</td> <td>88%</td> </tr> </tbody> </table> <ul style="list-style-type: none"> <li>DPC期間IIに対応したクリニカルパス(電子カルテ上で運用)に改良し、その運用を推進する(再掲)。</li> </ul>	区分	28年度実績	29年度目標	平均在院日数	9.9日	9.9日	病床稼働率	88.3%	88%		<ul style="list-style-type: none"> <li>DPCで設定されている平均在院日数を目標に病床管理を行った結果、診療密度は平成30年度のDPC特定病院群の基準値を上回った。[診療密度(好生館):2,452.53(基準値:2,413.38)]</li> </ul>	<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DPCで設定されている平均在院日数を目標に病床管理を行った結果、診療密度は平成30年度のDPC特定病院群の基準値を上回った。[診療密度(好生館):2,452.53(基準値:2,413.38)]</li> <li>平均在院日数及び病床稼働率については下表のとおりであった。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> <th>29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>9.9日</td> <td>9.9日</td> <td>9.95日</td> </tr> <tr> <td>病床稼働率</td> <td>88.3%</td> <td>88.0%</td> <td>84.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>○平均在院日数、病床稼働率ともに目標値を下回ったのでB評価とした。</p>	区分	28年度実績	29年度目標	29年度実績	平均在院日数	9.9日	9.9日	9.95日	病床稼働率	88.3%	88.0%	84.1%												
		区分	28年度実績	29年度目標																																				
平均在院日数	9.9日	9.9日																																						
病床稼働率	88.3%	88%																																						
区分	28年度実績	29年度目標	29年度実績																																					
平均在院日数	9.9日	9.9日	9.95日																																					
病床稼働率	88.3%	88.0%	84.1%																																					
<p>【目標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>24年度</th> <th>29年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>保険等査定率</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>入院</td> <td>0.25%</td> <td>0.22%</td> </tr> <tr> <td>外来</td> <td>0.32%</td> <td>0.29%</td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>12.9日</td> <td>12.0日</td> </tr> <tr> <td>病床利用率</td> <td>81%</td> <td>85%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	24年度	29年度	保険等査定率			入院	0.25%	0.22%	外来	0.32%	0.29%	平均在院日数	12.9日	12.0日	病床利用率	81%	85%	41	<ul style="list-style-type: none"> <li>未収金の発生を未然に防止する対策を強化するとともに、早期の回収に取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>限度額適用認定、公的助成の活用、面談等により未収金の未然防止を図った。また、入院予定の未収者を事前調査し対応した。</li> <li>関係部署の連携(情報共有)により早期の回収に努めた。</li> <li>出張督促(臨戸訪問)を継続し、債権回収と未収者の状況把握に務めた。</li> <li>新たに「コンビニ収納サービス」、「未収金回収業務の一部外部委託」を行った。</li> </ul>	<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的に「未収債権委員会」を開催し、未収状況の報告、回収等についての方策等を検討している。[第1回:8月31日開催 第2回:12月27日開催 第3回:3月27日開催]</li> <li>限度額適用認定、公的助成の活用、面談等により未収金の未然防止を図り、また、文書督促、臨戸訪問などにより未収金回収に注力した。</li> <li>新たに「コンビニ収納サービス」、「未収金回収業務の一部外部委託」を行った。</li> <li>未収額はH28年度より876千円増加した。</li> <li>未収額の割合:H28年度0.127%⇒H29年度0.135% 0.008ポイント増</li> </ul> <p>○未収額の減に努めたが、未収額も医業収益に対する未収額の割合も若干増加したのでB評価とした。</p>																	
区分	24年度	29年度																																						
保険等査定率																																								
入院	0.25%	0.22%																																						
外来	0.32%	0.29%																																						
平均在院日数	12.9日	12.0日																																						
病床利用率	81%	85%																																						
(2) 費用の節減	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用節減のための具体策を検討し、人件費、薬剤費、材料費等の医業収益に占める目標値を年度ごとに設定する。</li> <li>薬事委員会において、薬剤ごとに供給量、安全性、有効性等についての確認を行い、後発医薬品の導入を推進する。</li> <li>検査試薬を含めて材料費等の節減を図る。</li> <li>適切な人員配置等により業務分担を進め、時間外勤務を縮減する。</li> <li>職員全員の経営意識の向上を図るため、職員間での経営情報の共有を進めるとともに、職員のコストに対する意識向上、各職場でのコストダウンに取り組む。</li> </ul>	42	<ul style="list-style-type: none"> <li>費用節減のための具体策を検討し、人件費、薬剤費、材料費等の医業収益に占める目標値を年度ごとに設定し実行する。</li> <li>薬事委員会において、薬剤ごとに供給量、安全性、有効性等についての確認を行い、後発医薬品(バイオシミラーを含む)の導入を推進する。</li> <li>検査試薬を含めて材料費等の節減を図る。</li> <li>診療材料については、共同購買機構を有効に利用する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療材料購入は外部SPDを活用し、更なる効率化を図った。</li> <li>診療材料費・消耗品費は、共同購買により59,404千円削減できた。</li> <li>医薬品については、ベンチマークを活用しディーラー・メーカーと購入価格交渉を行った。(4月、9月)</li> </ul>	<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療材料費・消耗品費は、共同購買により59,404千円削減できた。</li> <li>医薬品については、ベンチマークを活用しディーラー・メーカーと購入価格交渉を行った。(4月、9月)</li> <li>以下のバイオシミラーを使用している。 <ul style="list-style-type: none"> <li>ーインスリングルルギンBS注「リリー」</li> <li>ーフィルグラスチムBS注「モチダ」</li> <li>ーインフリキシマブBS点滴静注用「NK」)</li> </ul> </li> </ul> <p>○診療材料については共同購買による費用削減、医薬品購入については適正価格での購入、後発品指数(項目44参照)については目標値を上回ったことなどによりA評価とした。</p>																																		
		43	<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な人員配置等により業務分担を進めることにより時間外勤務を縮減し、職員の業務量を軽減する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月に「時間外業務対策検討チーム」を立ち上げ、時間外勤務の縮減に努めた。</li> <li>職員の労働時間を正確に把握するために勤怠管理の電子化を進め、運用システムの構築を行った。</li> <li>職員の業務量を軽減するために104人採用した。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>試験回数</th> <th>採用人数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>H29年度中途採用:</td> <td>14回</td> <td>16人</td> </tr> <tr> <td>H30年度新規採用:</td> <td>20回</td> <td>88人</td> </tr> </tbody> </table>		試験回数	採用人数	H29年度中途採用:	14回	16人	H30年度新規採用:	20回	88人	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月に「時間外業務対策検討チーム」を立ち上げ、時間外勤務の縮減に努めた。</li> <li>職員の労働時間を正確に把握するために勤怠管理の電子化を進め、運用システムの構築を行った。</li> <li>職員の業務量を軽減するために104人採用した。</li> </ul>	<b>A</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>5月に「時間外業務対策検討チーム」を立ち上げ、時間外勤務の縮減に努めた。</li> <li>職員の労働時間を正確に把握するために勤怠管理の電子化を進め、運用システムの構築を行った。</li> <li>職員の業務量を軽減するために104人採用した。</li> </ul> <p>・職員の時間外勤務時間は、17.3時間/月(前年度比6.8時間/月減)であった。</p> <p>○職員の採用による適切な人員配置等により、昨年度より時間外勤務時間が減少したのでA評価とした。</p>																								
			試験回数	採用人数																																				
H29年度中途採用:	14回	16人																																						
H30年度新規採用:	20回	88人																																						
<p>【目標】</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人件費率</td> <td>47%</td> <td>49%</td> </tr> <tr> <td>材料費率</td> <td>27%</td> <td>26%</td> </tr> <tr> <td>(薬剤費比率)</td> <td>(15%)</td> <td>(13%)</td> </tr> <tr> <td>ジェネリック薬</td> <td>80.7%</td> <td>82%</td> </tr> </tbody> </table>	区分	28年度実績	29年度目標	人件費率	47%	49%	材料費率	27%	26%	(薬剤費比率)	(15%)	(13%)	ジェネリック薬	80.7%	82%	44	<ul style="list-style-type: none"> <li>職員全員の経営意識の向上を図るため、職員間での経営情報の共有を進めるとともに、職員のコストに対する意識向上、各職場でのコストダウンに取り組む。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>診療材料購入は外部SPDを活用し、更なる効率化を図った。</li> <li>診療材料費・消耗品費は、共同購買により59,404千円削減できた。</li> <li>医薬品については、ベンチマークを活用しディーラー・メーカーと購入価格交渉を行った。(4月、9月)(再掲)</li> <li>診療材料適正化委員会で新規診療材料の採用をベンチマーク価格と比較し決定した。</li> </ul>	<b>B</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>営業収益に対する各比率は下表のとおりである。</li> </ul> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区分</th> <th>28年度実績</th> <th>29年度目標</th> <th>29年度累計実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>人件費率</td> <td>47%</td> <td>49%</td> <td>48.5%</td> </tr> <tr> <td>材料費率</td> <td>27%</td> <td>26%</td> <td>27.6%</td> </tr> <tr> <td>(薬剤費比率)</td> <td>(15%)</td> <td>(13%)</td> <td>14.3%</td> </tr> <tr> <td>ジェネリック薬</td> <td>80.7%</td> <td>82%</td> <td>85.5%</td> </tr> </tbody> </table> <p>(ジェネリック薬は後発医薬品指数のことである)</p> <p>○材料費率が目標値に達しなかったためB評価とした。</p>	区分	28年度実績	29年度目標	29年度累計実績	人件費率	47%	49%	48.5%	材料費率	27%	26%	27.6%	(薬剤費比率)	(15%)	(13%)	14.3%	ジェネリック薬	80.7%	82%	85.5%
区分	28年度実績	29年度目標																																						
人件費率	47%	49%																																						
材料費率	27%	26%																																						
(薬剤費比率)	(15%)	(13%)																																						
ジェネリック薬	80.7%	82%																																						
区分	28年度実績	29年度目標	29年度累計実績																																					
人件費率	47%	49%	48.5%																																					
材料費率	27%	26%	27.6%																																					
(薬剤費比率)	(15%)	(13%)	14.3%																																					
ジェネリック薬	80.7%	82%	85.5%																																					

中期目標 第4 財務内容の改善に関する事項

中期計画	年度計画	実績																																																																																																																																																																																																																	
<p>予算、収支計画及び資金計画</p> <p>1 予算（平成26～29年度） (百万円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>56,951</td> </tr> <tr> <td>  営業収益</td> <td>51,979</td> </tr> <tr> <td>    医業収益</td> <td>48,200</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>3,203</td> </tr> <tr> <td>    補助金等収益</td> <td>208</td> </tr> <tr> <td>    受託収入</td> <td>369</td> </tr> <tr> <td>  営業外収益</td> <td>739</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>467</td> </tr> <tr> <td>    その他営業外収益</td> <td>272</td> </tr> <tr> <td>  資本収入</td> <td>4,196</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>3,036</td> </tr> <tr> <td>    長期借入金</td> <td>1,160</td> </tr> <tr> <td>    その他資本収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>  その他の収入</td> <td>37</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>55,970</td> </tr> <tr> <td>  営業費用</td> <td>46,616</td> </tr> <tr> <td>    医業費用</td> <td>44,874</td> </tr> <tr> <td>      給与費</td> <td>24,691</td> </tr> <tr> <td>      材料費</td> <td>12,524</td> </tr> <tr> <td>      研究研修費</td> <td>283</td> </tr> <tr> <td>      経費</td> <td>7,376</td> </tr> <tr> <td>    一般管理費</td> <td>1,742</td> </tr> <tr> <td>  営業外費用</td> <td>916</td> </tr> <tr> <td>  資本支出</td> <td>8,439</td> </tr> <tr> <td>    建設改良費</td> <td>2,475</td> </tr> <tr> <td>    長期借入金償還金</td> <td>5,963</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ・建設改良費及び長期借入金の償還金(元金)に充当される運営費負担金については、資本助成のための運営費負担金とする。          ・予算：県会計の収支予算に該当するもの(収益的収支、資本的収支をあわせて、発生主義に基づき作成する)</p>	区 分	金 額	収入	56,951	営業収益	51,979	医業収益	48,200	運営費負担金収益	3,203	補助金等収益	208	受託収入	369	営業外収益	739	運営費負担金収益	467	その他営業外収益	272	資本収入	4,196	運営費負担金収益	3,036	長期借入金	1,160	その他資本収入	0	その他の収入	37	支出	55,970	営業費用	46,616	医業費用	44,874	給与費	24,691	材料費	12,524	研究研修費	283	経費	7,376	一般管理費	1,742	営業外費用	916	資本支出	8,439	建設改良費	2,475	長期借入金償還金	5,963	<p>予算、収支計画及び資金計画</p> <p>1 予算（平成29年度） (千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>17,119,497</td> </tr> <tr> <td>  営業収益</td> <td>15,384,334</td> </tr> <tr> <td>    医業収益</td> <td>14,118,058</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>1,083,415</td> </tr> <tr> <td>    補助金等収益</td> <td>48,045</td> </tr> <tr> <td>    寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    受託収入</td> <td>134,816</td> </tr> <tr> <td>  営業外収益</td> <td>222,238</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>104,393</td> </tr> <tr> <td>    その他営業外収益</td> <td>117,845</td> </tr> <tr> <td>  臨時収益</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>  資本収入</td> <td>1,310,425</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>766,425</td> </tr> <tr> <td>    長期借入金</td> <td>544,000</td> </tr> <tr> <td>    その他資本収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>  その他の収入</td> <td>202,500</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>16,613,307</td> </tr> <tr> <td>  営業費用</td> <td>13,997,971</td> </tr> <tr> <td>    医業費用</td> <td>13,138,755</td> </tr> <tr> <td>      給与費</td> <td>6,859,378</td> </tr> <tr> <td>      材料費</td> <td>4,234,018</td> </tr> <tr> <td>      研究研修費</td> <td>131,635</td> </tr> <tr> <td>      経費</td> <td>1,913,724</td> </tr> <tr> <td>    一般管理費</td> <td>859,216</td> </tr> <tr> <td>  営業外費用</td> <td>208,787</td> </tr> <tr> <td>  臨時損失</td> <td>5,000</td> </tr> <tr> <td>  資本支出</td> <td>2,401,549</td> </tr> <tr> <td>    建設改良費</td> <td>853,697</td> </tr> <tr> <td>    長期借入金償還金</td> <td>1,532,852</td> </tr> <tr> <td>    貸付金</td> <td>15,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>(注) ・建設改良費及び長期借入金の償還金(元金)に充当される運営費負担金については、資本助成のための運営費負担金とする。          ・予算：県会計の収支予算に該当するもの(収益的収支、資本的収支をあわせて、発生主義に基づき作成する)</p>	区 分	金 額	収入	17,119,497	営業収益	15,384,334	医業収益	14,118,058	運営費負担金収益	1,083,415	補助金等収益	48,045	寄付金	0	受託収入	134,816	営業外収益	222,238	運営費負担金収益	104,393	その他営業外収益	117,845	臨時収益	0	資本収入	1,310,425	運営費負担金収益	766,425	長期借入金	544,000	その他資本収入	0	その他の収入	202,500	支出	16,613,307	営業費用	13,997,971	医業費用	13,138,755	給与費	6,859,378	材料費	4,234,018	研究研修費	131,635	経費	1,913,724	一般管理費	859,216	営業外費用	208,787	臨時損失	5,000	資本支出	2,401,549	建設改良費	853,697	長期借入金償還金	1,532,852	貸付金	15,000	<p>決算、収支実績及び資金</p> <p>1 決算（平成29年度） (千円)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>金 額</th> <th>計画との差</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>収入</td> <td>17,569,251</td> <td>449,754</td> </tr> <tr> <td>  営業収益</td> <td>15,957,889</td> <td>573,555</td> </tr> <tr> <td>    医業収益</td> <td>14,723,839</td> <td>605,781</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>1,083,415</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    補助金等収益</td> <td>47,272</td> <td>△ 773</td> </tr> <tr> <td>    寄付金</td> <td>3,347</td> <td>3,347</td> </tr> <tr> <td>    受託収入</td> <td>100,016</td> <td>△ 34,800</td> </tr> <tr> <td>  営業外収益</td> <td>227,863</td> <td>5,625</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>103,786</td> <td>△ 607</td> </tr> <tr> <td>    その他営業外収益</td> <td>124,077</td> <td>6,232</td> </tr> <tr> <td>  臨時収益</td> <td>73,074</td> <td>73,074</td> </tr> <tr> <td>  資本収入</td> <td>1,310,425</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    運営費負担金収益</td> <td>766,425</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    長期借入金</td> <td>544,000</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>    その他資本収入</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>  その他の収入</td> <td>0</td> <td>△ 202,500</td> </tr> <tr> <td>支出</td> <td>18,820,853</td> <td>2,207,546</td> </tr> <tr> <td>  営業費用</td> <td>15,132,249</td> <td>1,134,278</td> </tr> <tr> <td>    医業費用</td> <td>14,497,859</td> <td>1,359,104</td> </tr> <tr> <td>      給与費</td> <td>7,119,026</td> <td>259,648</td> </tr> <tr> <td>      材料費</td> <td>4,741,118</td> <td>507,100</td> </tr> <tr> <td>      研究研修費</td> <td>100,645</td> <td>△ 30,990</td> </tr> <tr> <td>      経費</td> <td>2,537,070</td> <td>623,346</td> </tr> <tr> <td>    一般管理費</td> <td>634,390</td> <td>△ 224,826</td> </tr> <tr> <td>  営業外費用</td> <td>208,010</td> <td>△ 777</td> </tr> <tr> <td>  臨時損失</td> <td>1,211,623</td> <td>1,206,623</td> </tr> <tr> <td>  資本支出</td> <td>2,268,971</td> <td>△ 132,578</td> </tr> <tr> <td>    建設改良費</td> <td>720,920</td> <td>△ 132,777</td> </tr> <tr> <td>    長期借入金償還金</td> <td>1,532,851</td> <td>△ 1</td> </tr> <tr> <td>    貸付金</td> <td>15,200</td> <td>200</td> </tr> </tbody> </table> <p>計画と実績に大きな乖離がある場合、その理由          ・ 医業収益の増・・・1人1日当たりの診療単価の増(入院・外来)          ・ 材料費の増・・・主に高額医薬品の使用の増。          ・ 臨時損失の増・・・労働基準監督署の勧告に伴う時間外手当の遡及支払いによる増。</p>	区 分	金 額	計画との差	収入	17,569,251	449,754	営業収益	15,957,889	573,555	医業収益	14,723,839	605,781	運営費負担金収益	1,083,415	0	補助金等収益	47,272	△ 773	寄付金	3,347	3,347	受託収入	100,016	△ 34,800	営業外収益	227,863	5,625	運営費負担金収益	103,786	△ 607	その他営業外収益	124,077	6,232	臨時収益	73,074	73,074	資本収入	1,310,425	0	運営費負担金収益	766,425	0	長期借入金	544,000	0	その他資本収入	0	0	その他の収入	0	△ 202,500	支出	18,820,853	2,207,546	営業費用	15,132,249	1,134,278	医業費用	14,497,859	1,359,104	給与費	7,119,026	259,648	材料費	4,741,118	507,100	研究研修費	100,645	△ 30,990	経費	2,537,070	623,346	一般管理費	634,390	△ 224,826	営業外費用	208,010	△ 777	臨時損失	1,211,623	1,206,623	資本支出	2,268,971	△ 132,578	建設改良費	720,920	△ 132,777	長期借入金償還金	1,532,851	△ 1	貸付金	15,200	200
区 分	金 額																																																																																																																																																																																																																		
収入	56,951																																																																																																																																																																																																																		
営業収益	51,979																																																																																																																																																																																																																		
医業収益	48,200																																																																																																																																																																																																																		
運営費負担金収益	3,203																																																																																																																																																																																																																		
補助金等収益	208																																																																																																																																																																																																																		
受託収入	369																																																																																																																																																																																																																		
営業外収益	739																																																																																																																																																																																																																		
運営費負担金収益	467																																																																																																																																																																																																																		
その他営業外収益	272																																																																																																																																																																																																																		
資本収入	4,196																																																																																																																																																																																																																		
運営費負担金収益	3,036																																																																																																																																																																																																																		
長期借入金	1,160																																																																																																																																																																																																																		
その他資本収入	0																																																																																																																																																																																																																		
その他の収入	37																																																																																																																																																																																																																		
支出	55,970																																																																																																																																																																																																																		
営業費用	46,616																																																																																																																																																																																																																		
医業費用	44,874																																																																																																																																																																																																																		
給与費	24,691																																																																																																																																																																																																																		
材料費	12,524																																																																																																																																																																																																																		
研究研修費	283																																																																																																																																																																																																																		
経費	7,376																																																																																																																																																																																																																		
一般管理費	1,742																																																																																																																																																																																																																		
営業外費用	916																																																																																																																																																																																																																		
資本支出	8,439																																																																																																																																																																																																																		
建設改良費	2,475																																																																																																																																																																																																																		
長期借入金償還金	5,963																																																																																																																																																																																																																		
区 分	金 額																																																																																																																																																																																																																		
収入	17,119,497																																																																																																																																																																																																																		
営業収益	15,384,334																																																																																																																																																																																																																		
医業収益	14,118,058																																																																																																																																																																																																																		
運営費負担金収益	1,083,415																																																																																																																																																																																																																		
補助金等収益	48,045																																																																																																																																																																																																																		
寄付金	0																																																																																																																																																																																																																		
受託収入	134,816																																																																																																																																																																																																																		
営業外収益	222,238																																																																																																																																																																																																																		
運営費負担金収益	104,393																																																																																																																																																																																																																		
その他営業外収益	117,845																																																																																																																																																																																																																		
臨時収益	0																																																																																																																																																																																																																		
資本収入	1,310,425																																																																																																																																																																																																																		
運営費負担金収益	766,425																																																																																																																																																																																																																		
長期借入金	544,000																																																																																																																																																																																																																		
その他資本収入	0																																																																																																																																																																																																																		
その他の収入	202,500																																																																																																																																																																																																																		
支出	16,613,307																																																																																																																																																																																																																		
営業費用	13,997,971																																																																																																																																																																																																																		
医業費用	13,138,755																																																																																																																																																																																																																		
給与費	6,859,378																																																																																																																																																																																																																		
材料費	4,234,018																																																																																																																																																																																																																		
研究研修費	131,635																																																																																																																																																																																																																		
経費	1,913,724																																																																																																																																																																																																																		
一般管理費	859,216																																																																																																																																																																																																																		
営業外費用	208,787																																																																																																																																																																																																																		
臨時損失	5,000																																																																																																																																																																																																																		
資本支出	2,401,549																																																																																																																																																																																																																		
建設改良費	853,697																																																																																																																																																																																																																		
長期借入金償還金	1,532,852																																																																																																																																																																																																																		
貸付金	15,000																																																																																																																																																																																																																		
区 分	金 額	計画との差																																																																																																																																																																																																																	
収入	17,569,251	449,754																																																																																																																																																																																																																	
営業収益	15,957,889	573,555																																																																																																																																																																																																																	
医業収益	14,723,839	605,781																																																																																																																																																																																																																	
運営費負担金収益	1,083,415	0																																																																																																																																																																																																																	
補助金等収益	47,272	△ 773																																																																																																																																																																																																																	
寄付金	3,347	3,347																																																																																																																																																																																																																	
受託収入	100,016	△ 34,800																																																																																																																																																																																																																	
営業外収益	227,863	5,625																																																																																																																																																																																																																	
運営費負担金収益	103,786	△ 607																																																																																																																																																																																																																	
その他営業外収益	124,077	6,232																																																																																																																																																																																																																	
臨時収益	73,074	73,074																																																																																																																																																																																																																	
資本収入	1,310,425	0																																																																																																																																																																																																																	
運営費負担金収益	766,425	0																																																																																																																																																																																																																	
長期借入金	544,000	0																																																																																																																																																																																																																	
その他資本収入	0	0																																																																																																																																																																																																																	
その他の収入	0	△ 202,500																																																																																																																																																																																																																	
支出	18,820,853	2,207,546																																																																																																																																																																																																																	
営業費用	15,132,249	1,134,278																																																																																																																																																																																																																	
医業費用	14,497,859	1,359,104																																																																																																																																																																																																																	
給与費	7,119,026	259,648																																																																																																																																																																																																																	
材料費	4,741,118	507,100																																																																																																																																																																																																																	
研究研修費	100,645	△ 30,990																																																																																																																																																																																																																	
経費	2,537,070	623,346																																																																																																																																																																																																																	
一般管理費	634,390	△ 224,826																																																																																																																																																																																																																	
営業外費用	208,010	△ 777																																																																																																																																																																																																																	
臨時損失	1,211,623	1,206,623																																																																																																																																																																																																																	
資本支出	2,268,971	△ 132,578																																																																																																																																																																																																																	
建設改良費	720,920	△ 132,777																																																																																																																																																																																																																	
長期借入金償還金	1,532,851	△ 1																																																																																																																																																																																																																	
貸付金	15,200	200																																																																																																																																																																																																																	

中期目標 第4 財務内容の改善に関する事項

中期計画		年度計画		実績		
2 収支計画（平成26～29年度）		2 収支計画（平成29年度）		2 収支実績（平成29年度）		
	(百万円)		(千円)		(千円)	
区 分	金 額	区 分	金 額	区 分	金 額	計画との差
収益の部	53,636	収益の部	15,953,541	収益の部	16,369,413	415,872
営業収益	52,860	営業収益	15,528,803	営業収益	16,071,843	543,040
医業収益	48,200	医業収益	14,118,058	医業収益	14,697,435	579,377
運営費負担金収益	3,203	運営費負担金収益	1,083,415	運営費負担金収益	1,083,415	0
資産見返補助金等戻入	881	資産見返補助金等戻入	144,469	資産見返補助金等戻入	147,763	3,294
補助金等収益	208	補助金等収益	48,045	補助金等収益	47,272	△ 773
受託収入	369	受託収入	134,816	受託収入	92,611	△ 42,205
寄付金収益				寄付金収益	3,347	3,347
営業外収益	739	営業外収益	222,238	営業外収益	224,499	2,261
運営費負担金収益	467	運営費負担金収益	104,393	運営費負担金収益	103,786	△ 607
その他営業外収益	272	その他営業外収益	117,845	その他営業外収益	120,713	2,868
臨時収益	37	臨時収益	202,500	臨時収益	73,070	△ 129,430
費用の部	54,018	費用の部	16,267,580	費用の部	18,032,175	1,764,595
営業費用	53,103	営業費用	16,053,793	営業費用	16,612,543	558,750
医業費用	51,360	医業費用	15,079,374	医業費用	15,793,814	714,440
給与費	24,691	給与費	7,009,103	給与費	7,115,463	106,360
材料費	12,524	材料費	4,234,018	材料費	4,389,408	155,390
減価償却費	6,487	減価償却費	1,790,894	減価償却費	1,804,258	13,364
研究研修費	283	研究研修費	131,635	研究研修費	94,422	△ 37,213
経費	7,376	経費	1,913,724	経費	2,390,263	476,539
一般管理費	1,742	一般管理費	903,099	一般管理費	746,915	△ 156,184
営業外費用	916	営業外費用	208,787	営業外費用	208,009	△ 778
臨時損失	0	臨時損失	5,000	臨時損失	1,211,623	1,206,623
純利益（純損失）	△ 382	純利益（純損失）	△ 314,039	純利益（純損失）	△ 1,662,762	△ 1,348,723
<p>(注) ・建設改良費及び長期借入金の償還金(元金)に充当される運営費負担金については、資本助成のための運営費負担金とする。          ・収支計画：企業会計の損益計算書に該当するもの(収益的収支について、発生主義に基づき作成する。)</p>		<p>(注) ・建設改良費及び長期借入金の償還金(元金)に充当される運営費負担金については、資本助成のための運営費負担金とする。          ・収支計画：企業会計の損益計算書に該当するもの(収益的収支について、発生主義に基づき作成する。)</p>		<p>計画と実績に大きな乖離がある場合、その理由          ・ 医業収益の増・・・1人1日当たりの診療単価の増(入院・外来)          ・ 臨時損失の増・・・労働基準監督署の勧告に伴う時間外手当の遡及支払いによる増。</p>		

中期目標 第4 財務内容の改善に関する事項

中期計画		年度計画		実績		
3 資金計画 (平成26~29年度) (百万円)		3 資金計画 (平成29年度) (千円)		3 資金実績 (平成29年度) (千円)		
区分	金額	区分	金額	区分	金額	計画との差
資金収入	60,533	資金収入	19,476,313	資金収入	31,582,885	12,106,572
業務活動による収入	52,756	業務活動による収入	15,809,072	業務活動による収入	16,516,487	707,415
診療報酬による収入	48,200	診療業務による収入	14,118,058	診療報酬による収入	15,092,899	974,841
運営費負担金による収入	3,670	運営費負担金による収入	1,390,308	運営費負担金による収入	1,188,717	△ 201,591
補助金等収入	208	補助金等収入	48,045	補助金等収入	51,953	3,908
その他の業務活動による収入	678	その他の業務活動による収入	252,661	その他の業務活動による収入	182,918	△ 69,743
投資活動による収入	3,036	投資活動による収入	766,425	投資活動による収入	12,772,469	12,006,044
運営費負担金による収入	3,036	運営費負担金による収入	766,425	運営費負担金による収入	766,425	0
その他の投資活動による収入	0	その他の投資活動による収入	0	その他の投資活動による収入	12,006,044	12,006,044
財務活動による収入	1,160	財務活動による収入	544,000	財務活動による収入	544,000	0
長期借入による収入	1,160	長期借入による収入	544,000	長期借入による収入	544,000	0
その他の財務活動による収入	0	その他の財務活動による収入	0	その他の財務活動による収入	0	0
前中期目標期間繰越金	3,582	前年度からの繰越金	2,356,816	前年度からの繰越金	1,749,929	△ 606,887
資金支出	60,533	資金支出	19,476,313	資金支出	31,582,885	12,106,572
業務活動による支出	47,404	業務活動による支出	14,211,758	業務活動による支出	16,270,865	2,059,107
給与費支出	25,991	給与費支出	7,521,965	給与費支出	8,959,253	1,437,288
材料費支出	12,524	材料費支出	4,234,018	材料費支出	4,471,484	237,466
その他の業務活動による支出	8,890	その他の業務活動による支出	2,455,775	その他の業務活動による支出	2,840,128	384,353
投資活動による支出	2,475	投資活動による支出	868,697	投資活動による支出	11,740,366	10,871,669
有形固定資産の取得による支出	2,475	有形固定資産の取得による支出	853,697	有形固定資産の取得による支出	424,682	△ 429,015
その他の投資活動による支出	0	奨学金の貸付による支出	15,000	奨学金の貸付による支出	15,200	200
その他の投資活動による支出	0	その他の投資活動による支出	0	その他の投資活動による支出	11,300,484	11,300,484
財務活動による支出	5,963	財務活動による支出	1,532,852	財務活動による支出	1,532,850	△ 2
長期借入金の返済による支出	5,475	長期借入金の返済による支出	1,506,772	長期借入金の返済による支出	1,506,771	△ 1
移行前地方債償還債務の償還による支出	489	移行前地方債償還債務の償還による支出	26,080	移行前地方債償還債務の償還による支出	26,079	△ 1
その他の財務活動による支出	0	その他の財務活動による支出	0	その他の財務活動による支出	0	0
次中期目標期間繰越金	4,691	次年度への繰越金	2,863,006	次年度への繰越金	2,038,804	△ 824,202
(注) ・建設改良費及び長期借入金の償還金(元金)に充当される運営費負担金については、資本助成のための運営費負担金とする。 ・資本計画：現金の収入、支出を業務、投資、財務の活動区分別に表すもの。		(注) ・建設改良費及び長期借入金の償還金(元金)に充当される運営費負担金については、資本助成のための運営費負担金とする。 ・資金計画：現金の収入、支出を業務、投資、財務の活動区分別に表すもの。		計画と実績に大きな乖離がある場合、その理由 ・診療報酬による収入の増・・・1人1日当たりの診療単価の増(入院・外来) ・給与費支出の増・・・労働基準監督署の勧告に伴う時間外手当及び法定福利費の増。		

中期目標	第4 財務内容の改善に関する事項	
中期計画	年度計画	実績
短期借入金の限度額 1 限度額 3,000百万円 2 想定される事由 ・運営費負担金の受入遅延等による資金不足への対応 ・偶発的な出費増への対応	短期借入金の限度額 1 なし 2 なし	1 借入実績なし 2 なし
出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産処分に関する計画 なし	出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産処分に関する計画 なし	なし
重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 なし	重要な財産を譲渡し、又は担保に供する計画 なし	なし
剰余金の使途 決算において剰余を生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、人材育成及び能力開発の充実、看護学生等への奨学金等に充てる。	剰余金の使途 なし	平成29年度の未処分損失については、前中期目標期間繰越積立金を取り崩し充当し、その残額については積立金に振り替える。
料金に関する事項 1 使用料及び手数料 理事長は、使用料及び手数料として、次に掲げる額を徴収する。 (1) 健康保険法（大正11年法律第70号）第76条第2項（同法第149条において準用する場合を含む。）及び高齢者の医療の確保に関する法律（昭和57年法律第80号）第71条第1項の規定に基づく方法により算定した額 (2) 健康保険法第85条第2項（同法第149条において準用する場合を含む。）及び高齢者の医療の確保に関する法律第74条第2項の規定に基づく基準により算定した額 (3) 生活保護法（昭和25年法律第144号）、国民健康保険法（昭和33年法律第192号）その他の法令等により定める額 (4) (1)、(2)及び(3)以外のものについては、別に理事長が定める額 2 減免 理事長は、特別の理由があると認めるときは、使用料及び手数料の全部又は一部を減免することができる。	料金に関する事項 1 なし 2 なし	1 なし 2 なし
【財務内容に改善に関する事項についての特記事項】		特記事項なし



全体的な状況

区分	評価
業務の実施状況について	<ul style="list-style-type: none"> <li>平成29年度もDPCⅡ群病院（大学病院本院に準ずる医療機能を有する病院：全国140病院）として、県民のために、さらに質の高い医療を提供した。</li> <li>「救命救急センター」「外傷センター」「ハートセンター」「脳卒中センター」を24時間365日体制で運用した。</li> <li>8月から「精神科リエゾンチーム」を設置し、救急患者から病棟患者まで、精神領域ケアの充実を図った。</li> <li>「胃がん」「大腸がん」「肝臓がん」「肺がん」「食道がん」「乳がん」「前立腺がん」の地域連携パスを運用し、地域完結型医療の実践を継続している。</li> <li>外来化学療法患者の増加に対応するため外来化学療法室を拡張し処置ベットを18床から25床へ増設した。</li> <li>低侵襲手術支援ロボット（ダヴィンチ）による前立腺がんの手術を継続実施した（29年度：30件）。</li> <li>脳卒中センターでは脳卒中患者を積極的に治療し、超急性期脳梗塞に対するtPA治療、経皮的脳血栓回収術を積極的に行った。</li> <li>小児科医師が3交替体制で小児・周産期医療を24時間提供し、また、県内唯一の小児外科診療の拠点病院として、専門医による小児外科治療を継続実施した。</li> <li>ハイブリッド手術室1室を含めた9室で手術を実施した。手術件数は5,904件で、その内の4,539件は全身麻酔下で実施された。</li> </ul>
財務状況について	<ul style="list-style-type: none"> <li>第2期中期計画最終年度となる平成29年度の経営状況は、入院収益については入院患者数減により減収となり、外来収益については化学療法件数の増などにより増収となり、業収益全体では146億9千7百万円となった。経常収益としては、162億9千6百万円となった。</li> <li>また、経常費用は、給与費の増、委託費の増、機器修繕費の増などにより168億2千1百万円となり、結果として、経常利益は△5億2千4百万円、当期純利益は△16億6千3百万円になった（経常収支比率：96.9%）。</li> <li>また、人件費比率は計画の49.0%に対し実績は48.5%、材料費比率は計画の26.0%に対し、実績は27.6%であった。</li> </ul>
法人のマネジメントについて	<ul style="list-style-type: none"> <li>佐賀県における中核的医療機関として、高度・専門（循環器、がん、小児・周産期、感染）医療や救急・急性期医療を提供するとともに、地域の医療機関との連携・役割分担のもと、県民に必要とされる良質で高度な医療を提供するため、地方独立行政法人の特徴である機動性、効率性等を發揮した病院経営に取り組んでいる。</li> <li>平成29年度もDPCⅡ群病院（大学病院本院に準じた医療機能を有する病院：全国140病院）として、さらに質の高い医療の提供に努めた。</li> <li>優秀な医師の育成と確保のために新専門医制度の専攻医研修プログラム（基幹型）を7つの診療科で申請し登録された。</li> <li>経営に関する取り組みとしては、引き続き医師・看護師・医療スタッフの積極的な確保による診療体制の充実、クリニカルパスの活用による在院日数の適正化を図った。</li> <li>入退院支援機能強化を目的とした「入退院支援センター」の平成30年4月新設準備のためにワーキンググループを立ち上げ、その一環として当分野での先駆的施設への見学を行いプランに反映させた。</li> <li>県内唯一の第一種の感染症指定医療機関として、エボラ出血熱等の一類感染症患者への対応を維持・強化するため感染症医療従事者によるN95マスクの定量的フィットテストや個人防護服の脱着訓練等を行った。</li> <li>佐賀県ドクターヘリについては、基地病院（佐賀大学病院）と連携を密にし、161回出動した。平成30年3月に佐賀県のドクターヘリと長崎県のドクターヘリが相互応援（平成30年4月開始）する基本協定を結んだ。</li> <li>基幹災害拠点病院として災害時に必要な診療機能を常に発揮できる体制を維持するため、九州沖縄ブロック緊急消防援助隊訓練など他機関との共同訓練にも積極的に参加した。また災害時の通信確保用に「固定型衛星通信システム」を設置するなど設備面の改善も行った。</li> <li>医薬品については、新作用機序の薬剤を積極的に使用しながら、引き続き後発品の導入を推進し経費の節減に努めた。また、医療機器購入に際しても、ベンチマーク等の活用により適正価格での購入を図るとともに、消耗品等の共同購入により、さらなる材料費削減に努めた。</li> <li>朝の採血待ち時間を短縮するために中央診療室の採血台を6台から8台へ増設し、待ち時間が平均で4分短縮した。また、外来待合でのアメニティー向上のため、デジタルサイネージの番組の新規作成、更新を行った。</li> <li>外国人患者の受け入れ体制の整備の一環として、英語、中国語、韓国語など計8カ国の通訳機能をもった多言語対応タブレットを導入した。また、院内施設の主要な施設案内表示等へ英語及び韓国語、中国語を併記した。平成30年度は「外国人患者受け入れ医療機関認証制度（JMIP）」の取得を目指している。</li> <li>地域の医療関係者及び県民に広く好生館の診察内容などを知ってもらうため広報誌に加えリーフレットを作成、配布した。また県民公開講座（2回）や出前講座、文化講演会などを開催し地域住民への啓発活動も行った。</li> <li>時間外勤務削減の一環として、会議や各種委員会等を勤務時間内に実施するようにした。また、定時以降に行われている研修会等の院内活動も、時間外業務と時間外業務でない自己研鑽に分類し職員に周知した。さらに職員の業務の実態にあわせ勤務時間帯を選択できるようにした（日勤13通り、準夜勤2通り、夜勤6通り）。</li> <li>平成26年度から段階的に導入した人事評価制度は、平成29年度より全職員に対し実施できるようにした。</li> </ul>
重要な後発事象	なし